

## 2023 年度授業評価アンケート実施報告

### 【2023 年度授業評価アンケート実施の総括】

2023 年度のアンケートは Web 回答方式に変更して 4 年目の実施となりました。

Web 回答方式に変更して以降の課題であったアンケートの回収率について、「可能な限り授業の最後に時間を設けてその場で回答してもらう」「回答期間終了の 1 週間前に、事務局から T-navi でリマインドを行うとともに、教員からも Google Classroom 等を通じてリマインドを行う」こととした結果、学部では前年度に比べて回収率がアップしましたが、助産研究科では回収率の上昇は見られませんでした。

### 【授業評価アンケート回答率（平均）の推移】

単位：％

|    | 2020 年度 |       | 2021 年度 |       | 2022 年度 |       | 2023 年度 |       |
|----|---------|-------|---------|-------|---------|-------|---------|-------|
|    | 前期      | 後期・通年 | 前期      | 後期・通年 | 前期      | 後期・通年 | 前期      | 後期・通年 |
| 学部 | 71.6    | 46.9  | 62.0    | 35.3  | 61.2    | 54.1  | 67.3    | 59.4  |
| 助産 | 71.8    | 61.3  | 35.2    | 9.1   | 21.3    | 18.3  | 20.3    | 4.9   |

また、回答率が 0%の科目が、学部の後期・通年開講科目で 2 科目、助産研究科の前期開講科目で 4 科目、後期・通年開講科目で 7 科目あり、大きな課題を残す結果となりました。

授業評価アンケートについては 4 年を 1 サイクルとして見直すこととしており、2023 年度が 2 サイクル目の最終年度であるため、今後のアンケートについて検討を行いました。

現在のアンケートは、各授業における評価の点数や全体の平均が高止まりの傾向にあり、より実用的なアンケートの設計（質問項目、方法等）を行うこととし、第 1 回 FDSD 研修会で取り上げた結果、教員の皆さまからの様々なご意見をいただきました。

当初、新しいアンケートの運用開始時期は 2024 年度からと考えていましたが、時間をかけて慎重に検討を進める必要があるとの結論に達し、運用開始時期を 1 年延長し、2025 年度からとすることとしました。

2024 年度も、新しいアンケートの運用開始に向けて検討を進めていきますので、引き続き、教員の皆さまのご協力をお願いいたします。

最後に、授業評価アンケート実施にあたりご協力いただきました多くの学生、教職員の皆さまに心よりお礼申し上げます。

## 【アンケート実施の目的】

学生による授業評価アンケートは、学生の視点から授業改善の手がかりを探り、個々の授業改善につなげることで教育の質を向上させることを目的とする。

## 【アンケートの概要】

### 1. 実施方法

原則、全科目を対象とし、授業最終日にアンケート方式により実施した。ただし、匿名性担保のため、履修人数が10名以下の科目は対象外とした。

### 2. アンケートの回答方法

T-navi にログインし、Web 上で回答する方法とした。

### 3. アンケート設問項目

#### 1) 講義、演習用

(1) 学部、大学院看護栄養学研究科：選択式12問及び自由記載（「良かった点」「改善してほしい点」「その他、授業に関する意見・要望」）

(2) 助産研究科：選択式15問及び自由記載（「良かった点」「改善してほしい点」）

#### 2) 臨地実習用

(1) 学部、大学院看護栄養学研究科：選択式9問及び自由記載（「良かった点」「改善してほしい点」「その他、授業に関する意見・要望」）

(2) 助産研究科：実習科目ごとに助産研究科で検討し、毎年度4月のFDSD委員会で承認する。

### 4. アンケート結果の集計

アンケート集計表の作成は、日本通信紙株式会社に委託し、前期と後期・通年科目と分けて集計した。

#### 1) 設問項目別回答分布表

人数、選択肢ごとの平均、前期又は後期開講科目全体の平均

#### 2) 回答分布

100%積み上げ縦棒グラフ

#### 3) 評価レーダーチャート

選択肢ごとの平均、前期又は後期開講科目全体の平均

ただし、設問12はレーダーチャートから外すこととする。

その他、アンケート結果の解釈・判断のため、「回収率」を表示する。

#### 4) アンケートに対する科目責任者のコメントについて

科目責任者のコメント欄は、「自由記載に対するコメント」及び「結果全体に対するコメント」欄に分け、「結果全体に対するコメント」欄は、全科目責任者が記載することとした。

「自由記載に対するコメント」は、回答が必要と科目責任者が判断した内容について抽出し、その回答とあわせて記載した。なお、自由記載は学生には公開されないため、コメントを記載する際は、どんな意見であったかも必ず記載する。

記載にあたっては、Excel 版の集計表を事務局から科目責任者にメールで配信し、それぞれの欄に入力して返信する方法をとった。

#### 5. アンケート集計速報の閲覧について

回答期間終了後すぐに、学生は自身の履修科目の集計結果（グラフ）を、教員は自身の担当科目の集計結果及び自由記載を閲覧可能とした。

#### 6. 授業の改善を図るための取り組み

平均点が 3.0 未満の低評価の設問が 2 つ以上ある科目があった場合、委員会での審議を経て科目責任者の教員に対して、原因の分析および具体的な改善計画を立案し、授業改善計画書としてまとめ、提出することとした。

2023 年度については、前期開講科目のうち、助産研究科の 1 科目が該当したが、委員会で審議の結果、当該科目は 3.0 未満の低評価が 2 つある一方で、5.0 との高評価な項目も多数あること、回答数が 1 名であり、受講者全体の状況を反映しているとは言えないことから、授業改善計画書の提出は求めなかった。後期及び通年開講科目では、該当する科目はなかった。

#### 7. アンケート結果の公表

- 1) 科目ごとの PDF ファイルを、教職員には学内 LAN 掲示板、学生には GoogleDrive に掲載して公開する。
- 2) 科目責任者が非常勤講師の場合は、FDSD 委員会事務局担当からメールで配付する。

【別紙1 アンケート質問項目】

学部、大学院看護栄養学研究科 講義・演習用（選択肢 12 問、自由記載 3 問）

|   | 質問項目                                                                          | 評価の選択肢                                                            |
|---|-------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------|
| ① | 授業概要を読んで科目の概要、目標が理解できた                                                        | ①理解できた<br>②ある程度理解できた<br>③あまり理解できなかった<br>④理解できなかった                 |
| ② | 授業の評価方法は適切だった                                                                 | ①適切だった<br>②ある程度適切だった<br>③あまり適切ではなかった<br>④適切ではなかった                 |
| ③ | 授業は、授業概要の計画通りに進められた                                                           | ①計画通りだった<br>②ある程度計画通りだった<br>③多少計画とは違った<br>④計画とは違った                |
| ④ | 教材、参考文献の提示は適切だった                                                              | ①適切だった<br>②ある程度適切だった<br>③あまり適切ではなかった<br>④適切ではなかった                 |
| ⑤ | 授業の方法（グループワーク、演習、視聴覚教材等の活用）は適切だった                                             | ①適切だった<br>②ある程度適切だった<br>③あまり適切ではなかった<br>④適切ではなかった                 |
| ⑥ | 教員は学生の質問・発言に適切に応答していた                                                         | ①適切だった<br>②ある程度適切だった<br>③あまり適切ではなかった<br>④適切ではなかった                 |
| ⑦ | 授業で要求される作業量（レポート、課題など）は適切であった（③あまり適切ではなかった又は④適切ではなかったを選択した方は、⑬にその理由を記載してください） | ①適切だった<br>②ある程度適切だった<br>③あまり適切ではなかった<br>④適切ではなかった                 |
| ⑧ | 授業の内容を理解できた                                                                   | ①理解できた<br>②ある程度理解できた<br>③あまり理解できなかった<br>④理解できなかった                 |
| ⑨ | 授業によって、自分の考えを深めることができた                                                        | ①深めることができた<br>②ある程度深めることができた<br>③あまり深めることができなかった<br>④深めることができなかった |
| ⑩ | 授業によって、さらに学びを広げたいと感じた                                                         | ①広げたいと感じた<br>②ある程度広げたいと感じた<br>③あまり広げたいと感じなかった<br>④広げたいと感じなかった     |

|   |                                                                       |                                                        |
|---|-----------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------|
| ⑪ | 授業全般を通し、この授業に満足した                                                     | ①満足した<br>②ある程度満足した<br>③あまり満足しなかった<br>④満足しなかった          |
| ⑫ | 1 回の授業に対してどの程度自己学習（予習・復習・課題を含む）を行いましたか                                | ①2 時間以上<br>②1 時間以上 2 時間未満<br>③30 分以上 1 時間未満<br>④30 分未満 |
| ⑬ | 設問⑦で選択肢③あまり適切ではなかった又は選択肢④適切ではなかったを選択した方は、その理由（多い、少ないなども含めて）を記載してください。 |                                                        |
| ⑭ | この授業について、良かった点を記載してください。                                              |                                                        |
| ⑮ | この授業について、改善してほしい点を記載してください。                                           |                                                        |
| ⑯ | その他、この授業に関する意見・要望があれば記載してください。                                        |                                                        |

|   | 質問項目                           | 評価の選択肢                                                |
|---|--------------------------------|-------------------------------------------------------|
| ① | オリエンテーションの内容は適切でしたか            | ①適切だった<br>②ある程度適切だった<br>③あまり適切ではなかった<br>④適切ではなかった     |
| ② | この科目における実習の目的や目標は明確でしたか        | ①明確だった<br>②ある程度明確だった<br>③あまり明確ではなかった<br>④明確ではなかった     |
| ③ | 教員や指導者は、学生を尊重し、真剣に関わりましたか      | ①関わった<br>②ある程度関わった<br>③あまり関わらなかった<br>④関わらなかった         |
| ④ | 教員と指導者は、連携をとりながら指導しましたか        | ①連携していた<br>②ある程度連携していた<br>③あまり連携していなかった<br>④連携していなかった |
| ⑤ | 実習課題や記録物の量は適切でしたか              | ①適切だった<br>②ある程度適切だった<br>③あまり適切ではなかった<br>④適切ではなかった     |
| ⑥ | 教員や指導者に相談や質問ができる体制が整っていましたか    | ①整っていた<br>②ある程度整っていた<br>③あまり整っていなかった<br>④整っていなかった     |
| ⑦ | 実習に使用する教材、参考文献の提示は適切だった        | ①適切だった<br>②ある程度適切だった<br>③あまり適切ではなかった<br>④適切ではなかった     |
| ⑧ | あなたは、実習に積極的に取り組みましたか           | ①十分にできた<br>②ある程度できた<br>③あまりできなかった<br>④できなかった          |
| ⑨ | あなたは、実習の目標を達成できましたか            | ①達成できた<br>②ある程度達成できた<br>③あまり達成できなかった<br>④達成できなかった     |
| ⑩ | この授業について、良かった点を記載してください。       |                                                       |
| ⑪ | この授業について、改善してほしい点を記載してください。    |                                                       |
| ⑫ | その他、この授業に関する意見・要望があれば記載してください。 |                                                       |

とてもそう思う（４）、ある程度そう思う（３）、あまりそう思わない（２）、そう思わない（１）

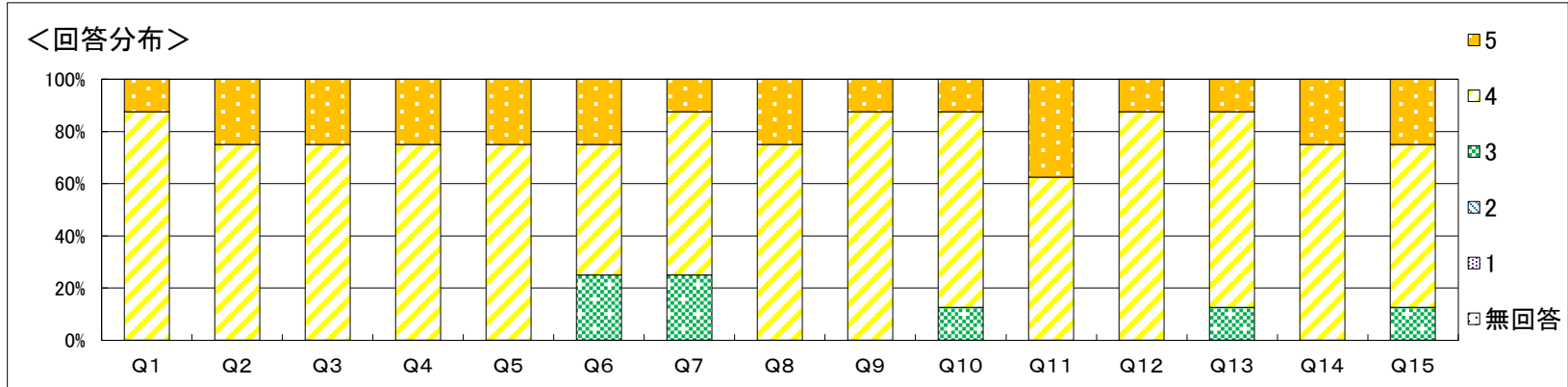
|   |                                            |
|---|--------------------------------------------|
| ① | シラバスには、授業の概要・目標等が明確に記載されていた。               |
| ② | 授業の構成は体系的に行われていた。                          |
| ③ | 授業の時間数は適当だった。                              |
| ④ | 授業の進行は適切だった。                               |
| ⑤ | 授業方法、形態（対話・討論型授業、ワークグループなど）は適切だった。         |
| ⑥ | 視聴覚教材（黒板、パワーポイント、ビデオ、プリントなど）は理解の促進に効果的だった。 |
| ⑦ | 授業内容はわかりやすく説明されていた。                        |
| ⑧ | 授業で要求される作業量（レポート、宿題など）は適切だった。              |
| ⑨ | 教員は効果的に院生の参加（発言、自己学習、作業など）を促した。            |
| ⑩ | 教員は院生の質問・発言等に適切に対応した。                      |
| ⑪ | 自分は授業に質問・発言など積極的な態度で参加した。                  |
| ⑫ | 自分は指定図書を活用し、授業に参加した。                       |
| ⑬ | 自分は授業の事前・事後学習（課題を含む）を行った。                  |
| ⑭ | 自分は授業により、新しい知識、考え方、技能を習得できた。               |
| ⑮ | 自分は授業の履修目標は達成できた。                          |
| ⑯ | この授業について、良かった点を記載してください。                   |
| ⑰ | この授業について、改善してほしい点を記載してください。                |

|         |                                 |      |       |
|---------|---------------------------------|------|-------|
| 科目名     | (500001) 4000012F11100100 助産学概論 |      |       |
| 学科      | 助産研究科                           | 履修者数 | 21人   |
| 学年      | 基礎1年                            | 回収数  | 8人    |
| 必修・選択の別 | 必修                              | 回収率  | 38.1% |

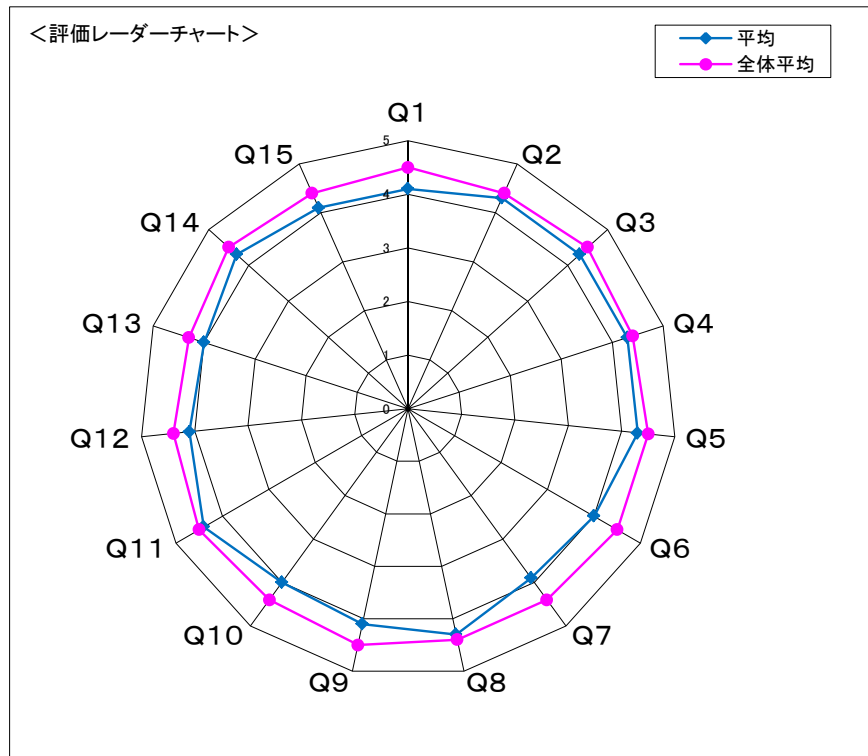
項目別回答分布(人数と平均値)

|                                              | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 無回答 | 平均  | 全体平均 |
|----------------------------------------------|---|---|---|---|---|-----|-----|------|
| 1. シラバスには、授業の概要・目標等が明確に記載されていた               | 1 | 7 | 0 | 0 | － | 0   | 4.1 | 4.5  |
| 2. 授業の構成は体系的に行われていた                          | 2 | 6 | 0 | 0 | － | 0   | 4.3 | 4.4  |
| 3. 授業の時間数は適当だった                              | 2 | 6 | 0 | 0 | － | 0   | 4.3 | 4.5  |
| 4. 授業の進行は適切だった                               | 2 | 6 | 0 | 0 | － | 0   | 4.3 | 4.4  |
| 5. 授業方法、形態(対話・討論型授業、グループワークなど)は適切だった         | 2 | 6 | 0 | 0 | － | 0   | 4.3 | 4.5  |
| 6. 視聴覚教材(黒板、パワーポイント、ビデオ、プリントなど)は理解の促進に効果的だった | 2 | 4 | 2 | 0 | － | 0   | 4.0 | 4.5  |
| 7. 授業内容はわかりやすく説明されていた                        | 1 | 5 | 2 | 0 | － | 0   | 3.9 | 4.4  |
| 8. 授業で要求される作業量(レポート、宿題など)は適切だった              | 2 | 6 | 0 | 0 | － | 0   | 4.3 | 4.4  |
| 9. 教員は効果的に院生の参加(発言、自己学習、作業など)を促した            | 1 | 7 | 0 | 0 | － | 0   | 4.1 | 4.5  |
| 10. 教員は院生の質問・発言等に適切に対応した                     | 1 | 6 | 1 | 0 | － | 0   | 4.0 | 4.4  |
| 11. 自分は授業に質問・発言など積極的な態度で参加した                 | 3 | 5 | 0 | 0 | － | 0   | 4.4 | 4.5  |
| 12. 自分は指定図書を活用し、授業に参加した                      | 1 | 7 | 0 | 0 | － | 0   | 4.1 | 4.4  |
| 13. 自分は授業の事前・事後学習(課題を含む)を行った                 | 1 | 6 | 1 | 0 | － | 0   | 4.0 | 4.3  |
| 14. 自分は授業により、新しい知識、考え方、技能を習得できた              | 2 | 6 | 0 | 0 | － | 0   | 4.3 | 4.5  |
| 15. 自分は授業の履修目標は達成できた                         | 2 | 5 | 1 | 0 | － | 0   | 4.1 | 4.4  |
|                                              |   |   |   |   |   |     |     |      |
|                                              |   |   |   |   |   |     |     |      |
|                                              |   |   |   |   |   |     |     |      |
|                                              |   |   |   |   |   |     |     |      |
|                                              |   |   |   |   |   |     |     |      |

<回答分布>



<評価レーダーチャート>



自由記載に関するコメント  
ありませんでした。

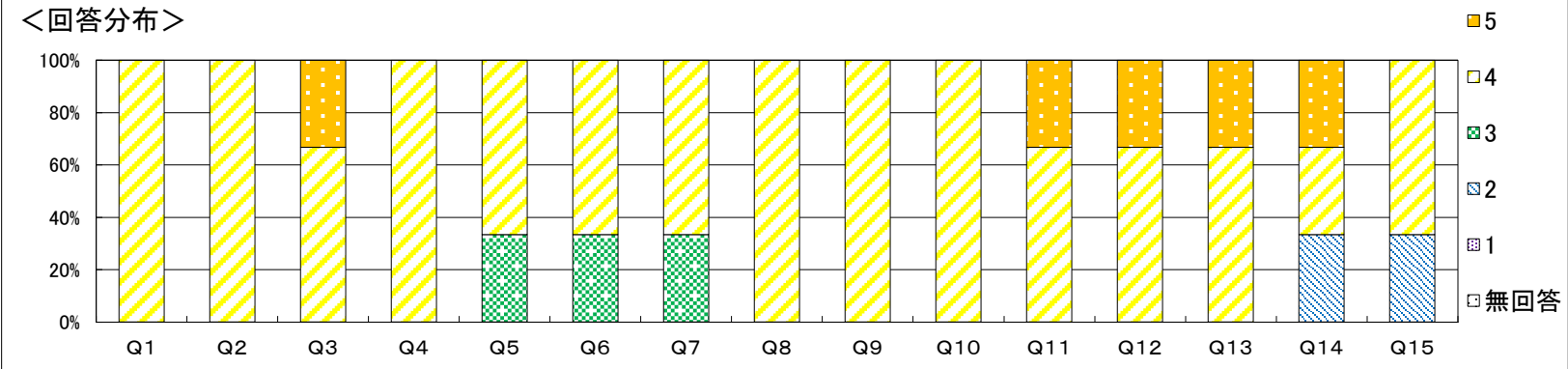
結果全体に対するコメント  
科目の特性として、抽象的で概念的な話が多くなりますので、そこを分かりやすく伝える工夫を継続します。助産の現実、将来について思考し、議論を展開できるようなクラスを目指します。

|         |                                      |      |       |
|---------|--------------------------------------|------|-------|
| 科目名     | (500018) 40000182F11100200 助産哲学・倫理 I |      |       |
| 学科      | 助産研究科                                | 履修者数 | 22人   |
| 学年      | 1                                    | 回収数  | 3人    |
| 必修・選択の別 | 必修                                   | 回収率  | 13.6% |

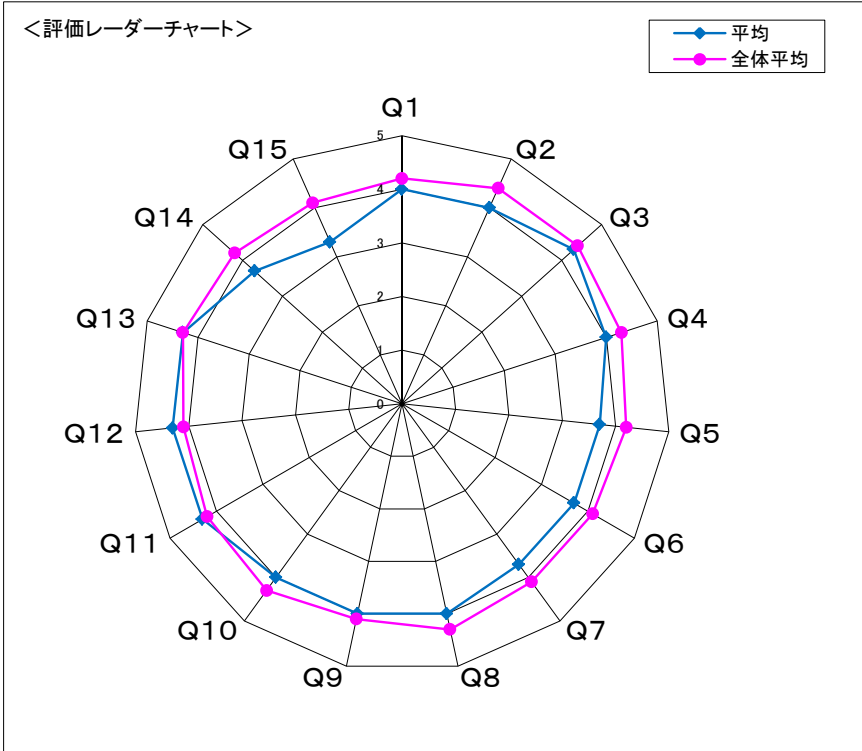
項目別回答分布(人数と平均値)

|                                              | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 無回答 | 平均  | 全体平均 |
|----------------------------------------------|---|---|---|---|---|-----|-----|------|
| 1. シラバスには、授業の概要・目標等が明確に記載されていた               | 0 | 3 | 0 | 0 | － | 0   | 4.0 | 4.2  |
| 2. 授業の構成は体系的に行われていた                          | 0 | 3 | 0 | 0 | － | 0   | 4.0 | 4.4  |
| 3. 授業の時間数は適当だった                              | 1 | 2 | 0 | 0 | － | 0   | 4.3 | 4.4  |
| 4. 授業の進行は適切だった                               | 0 | 3 | 0 | 0 | － | 0   | 4.0 | 4.3  |
| 5. 授業方法、形態(対話・討論型授業、グループワークなど)は適切だった         | 0 | 2 | 1 | 0 | － | 0   | 3.7 | 4.2  |
| 6. 視聴覚教材(黒板、パワーポイント、ビデオ、プリントなど)は理解の促進に効果的だった | 0 | 2 | 1 | 0 | － | 0   | 3.7 | 4.1  |
| 7. 授業内容はわかりやすく説明されていた                        | 0 | 2 | 1 | 0 | － | 0   | 3.7 | 4.1  |
| 8. 授業で要求される作業量(レポート、宿題など)は適切だった              | 0 | 3 | 0 | 0 | － | 0   | 4.0 | 4.3  |
| 9. 教員は効果的に院生の参加(発言、自己学習、作業など)を促した            | 0 | 3 | 0 | 0 | － | 0   | 4.0 | 4.1  |
| 10. 教員は院生の質問・発言等に適切に対応した                     | 0 | 3 | 0 | 0 | － | 0   | 4.0 | 4.3  |
| 11. 自分は授業に質問・発言など積極的な態度で参加した                 | 1 | 2 | 0 | 0 | － | 0   | 4.3 | 4.2  |
| 12. 自分は指定図書を活用し、授業に参加した                      | 1 | 2 | 0 | 0 | － | 0   | 4.3 | 4.1  |
| 13. 自分は授業の事前・事後学習(課題を含む)を行った                 | 1 | 2 | 0 | 0 | － | 0   | 4.3 | 4.3  |
| 14. 自分は授業により、新しい知識、考え方、技能を習得できた              | 1 | 1 | 0 | 1 | － | 0   | 3.7 | 4.2  |
| 15. 自分は授業の履修目標は達成できた                         | 0 | 2 | 0 | 1 | － | 0   | 3.3 | 4.1  |
|                                              |   |   |   |   |   |     |     |      |
|                                              |   |   |   |   |   |     |     |      |
|                                              |   |   |   |   |   |     |     |      |
|                                              |   |   |   |   |   |     |     |      |
|                                              |   |   |   |   |   |     |     |      |

<回答分布>



<評価レーダーチャート>



自由記載に関するコメント

<意見> 聖書の内容と助産に関連する部分がよくわからなかった 助産師としての倫理観みたいなのをもっとやった方がいい。それか他の授業と一緒に取り上げたらいいと思いました。

[回答] 本学の核となっているキリスト教に関する内容をこの授業で行っているため、科目名との乖離がでてしまっています。そのため、カリキュラムの変更に取り組んでいます。・・・改正:2025年度予定

助産倫理については、他の諸々の科目で取り上げ、随所で考えていただいていると思います。

<良かった点> グループワークが学びになりました。

結果全体に対するコメント

回答者が3名しかいないため、回答してもらえる工夫がまず必要である。15:履修目標が達成できたにおいて、1名は”2”であり低い。また、全体的に平均より低い。

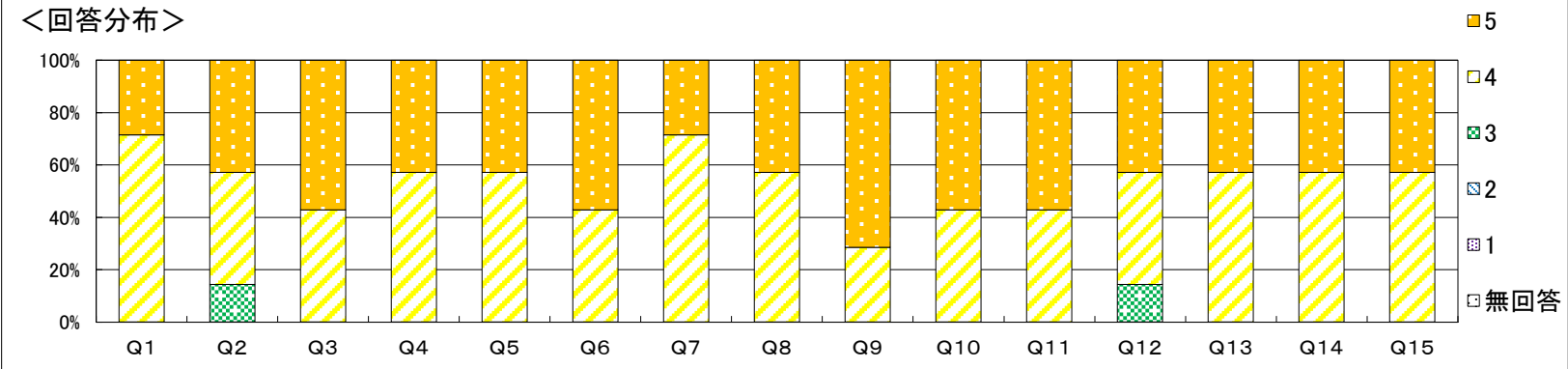
助産倫理だけでなく聖書・カトリックから命を考えることを目標にあげているが、意見をふまえ、少ない授業の中で命や助産に繋がられるように工夫したい。

|         |                                 |      |       |
|---------|---------------------------------|------|-------|
| 科目名     | (500002) 4000022F11100400 出産の文化 |      |       |
| 学科      | 助産研究科                           | 履修者数 | 21人   |
| 学年      | 基礎1年                            | 回収数  | 7人    |
| 必修・選択の別 | 必修                              | 回収率  | 33.3% |

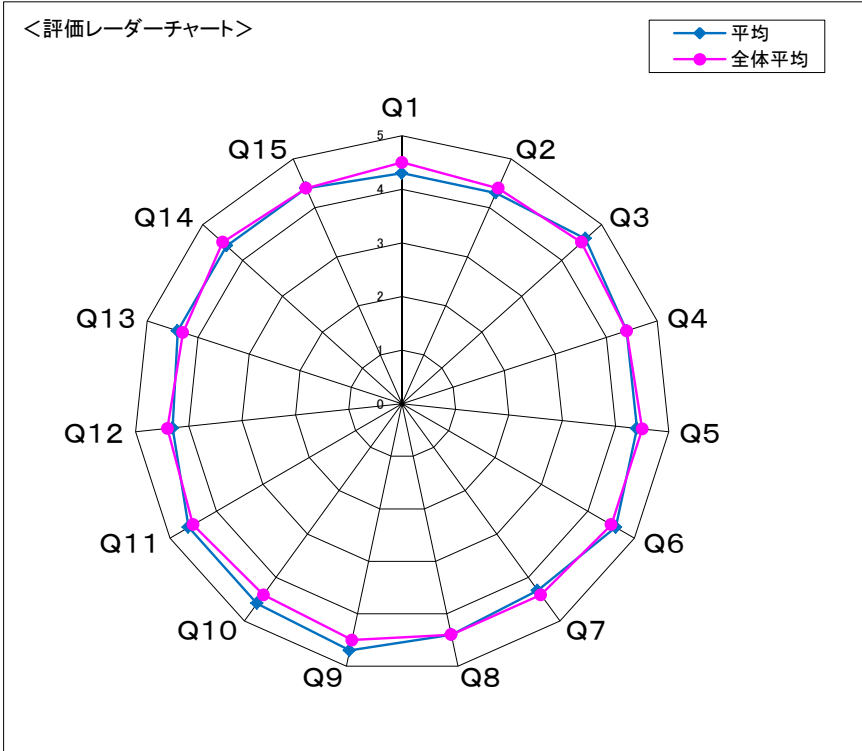
項目別回答分布(人数と平均値)

|                                              | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 無回答 | 平均  | 全体平均 |
|----------------------------------------------|---|---|---|---|---|-----|-----|------|
| 1. シラバスには、授業の概要・目標等が明確に記載されていた               | 2 | 5 | 0 | 0 | － | 0   | 4.3 | 4.5  |
| 2. 授業の構成は体系的に行われていた                          | 3 | 3 | 1 | 0 | － | 0   | 4.3 | 4.4  |
| 3. 授業の時間数は適当だった                              | 4 | 3 | 0 | 0 | － | 0   | 4.6 | 4.5  |
| 4. 授業の進行は適切だった                               | 3 | 4 | 0 | 0 | － | 0   | 4.4 | 4.4  |
| 5. 授業方法、形態(対話・討論型授業、グループワークなど)は適切だった         | 3 | 4 | 0 | 0 | － | 0   | 4.4 | 4.5  |
| 6. 視聴覚教材(黒板、パワーポイント、ビデオ、プリントなど)は理解の促進に効果的だった | 4 | 3 | 0 | 0 | － | 0   | 4.6 | 4.5  |
| 7. 授業内容はわかりやすく説明されていた                        | 2 | 5 | 0 | 0 | － | 0   | 4.3 | 4.4  |
| 8. 授業で要求される作業量(レポート、宿題など)は適切だった              | 3 | 4 | 0 | 0 | － | 0   | 4.4 | 4.4  |
| 9. 教員は効果的に院生の参加(発言、自己学習、作業など)を促した            | 5 | 2 | 0 | 0 | － | 0   | 4.7 | 4.5  |
| 10. 教員は院生の質問・発言等に適切に対応した                     | 4 | 3 | 0 | 0 | － | 0   | 4.6 | 4.4  |
| 11. 自分は授業に質問・発言など積極的な態度で参加した                 | 4 | 3 | 0 | 0 | － | 0   | 4.6 | 4.5  |
| 12. 自分は指定図書を活用し、授業に参加した                      | 3 | 3 | 1 | 0 | － | 0   | 4.3 | 4.4  |
| 13. 自分は授業の事前・事後学習(課題を含む)を行った                 | 3 | 4 | 0 | 0 | － | 0   | 4.4 | 4.3  |
| 14. 自分は授業により、新しい知識、考え方、技能を習得できた              | 3 | 4 | 0 | 0 | － | 0   | 4.4 | 4.5  |
| 15. 自分は授業の履修目標は達成できた                         | 3 | 4 | 0 | 0 | － | 0   | 4.4 | 4.4  |
|                                              |   |   |   |   |   |     |     |      |
|                                              |   |   |   |   |   |     |     |      |
|                                              |   |   |   |   |   |     |     |      |
|                                              |   |   |   |   |   |     |     |      |
|                                              |   |   |   |   |   |     |     |      |

<回答分布>



<評価レーダーチャート>



自由記載に関するコメント

結果全体に対するコメント

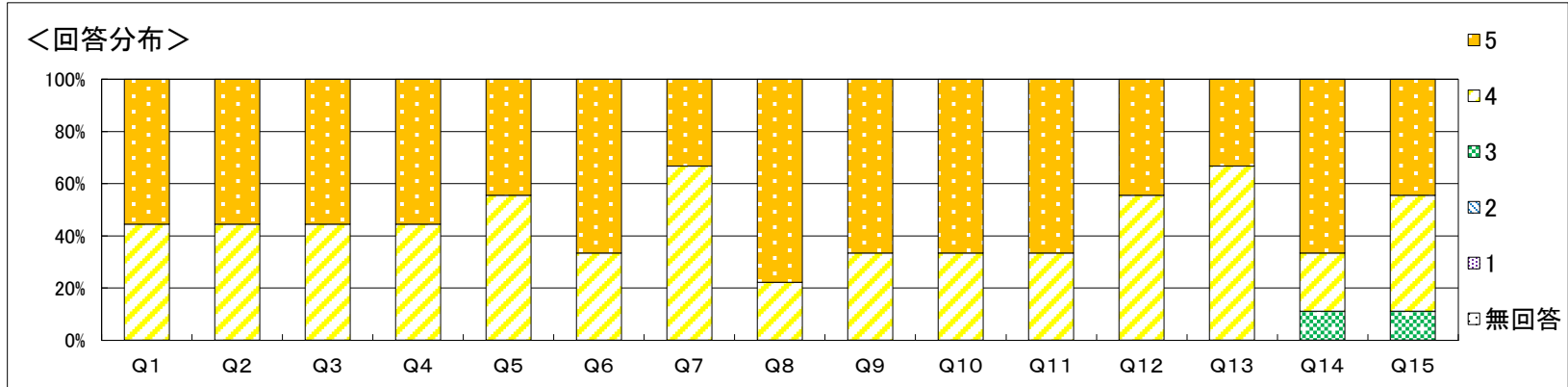
回答者が7名と少人数であるため、クラス全体の評価とは言いがたい。  
回答者7名の授業評価は、平均は4.5と高く、科目への関心の高さが感じられた。

|         |                                             |      |       |
|---------|---------------------------------------------|------|-------|
| 科目名     | (500003) 4000032F11200100 女性のフィジカルイグザミネーション |      |       |
| 学科      | 助産研究科                                       | 履修者数 | 21人   |
| 学年      | 基礎1年                                        | 回収数  | 9人    |
| 必修・選択の別 | 必修                                          | 回収率  | 42.9% |

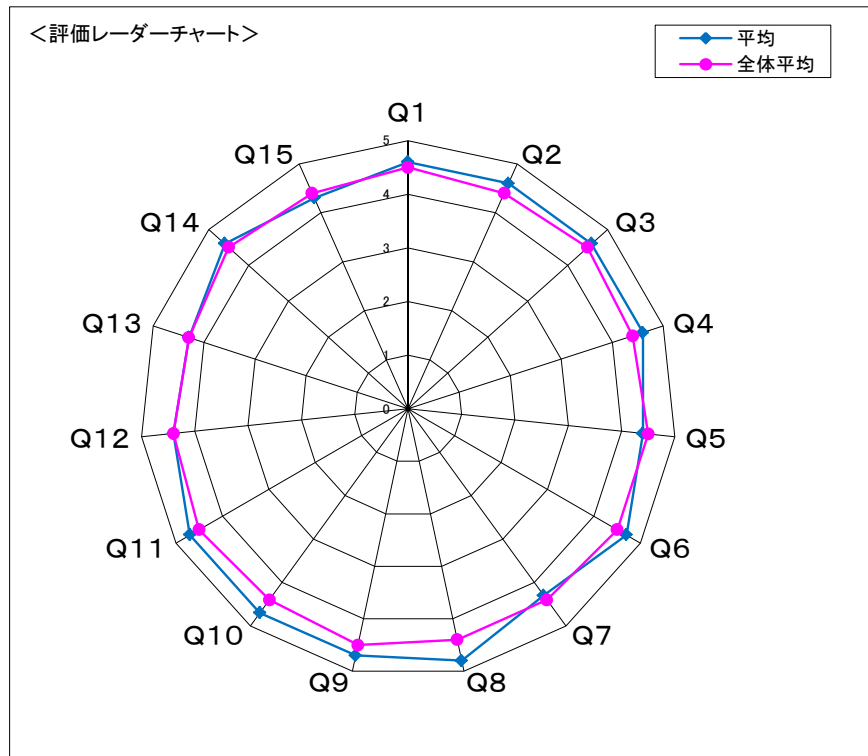
項目別回答分布(人数と平均値)

|                                              | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 無回答 | 平均  | 全体平均 |
|----------------------------------------------|---|---|---|---|---|-----|-----|------|
| 1. シラバスには、授業の概要・目標等が明確に記載されていた               | 5 | 4 | 0 | 0 | － | 0   | 4.6 | 4.5  |
| 2. 授業の構成は体系的に行われていた                          | 5 | 4 | 0 | 0 | － | 0   | 4.6 | 4.4  |
| 3. 授業の時間数は適当だった                              | 5 | 4 | 0 | 0 | － | 0   | 4.6 | 4.5  |
| 4. 授業の進行は適切だった                               | 5 | 4 | 0 | 0 | － | 0   | 4.6 | 4.4  |
| 5. 授業方法、形態(対話・討論型授業、グループワークなど)は適切だった         | 4 | 5 | 0 | 0 | － | 0   | 4.4 | 4.5  |
| 6. 視聴覚教材(黒板、パワーポイント、ビデオ、プリントなど)は理解の促進に効果的だった | 6 | 3 | 0 | 0 | － | 0   | 4.7 | 4.5  |
| 7. 授業内容はわかりやすく説明されていた                        | 3 | 6 | 0 | 0 | － | 0   | 4.3 | 4.4  |
| 8. 授業で要求される作業量(レポート、宿題など)は適切だった              | 7 | 2 | 0 | 0 | － | 0   | 4.8 | 4.4  |
| 9. 教員は効果的に院生の参加(発言、自己学習、作業など)を促した            | 6 | 3 | 0 | 0 | － | 0   | 4.7 | 4.5  |
| 10. 教員は院生の質問・発言等に適切に対応した                     | 6 | 3 | 0 | 0 | － | 0   | 4.7 | 4.4  |
| 11. 自分は授業に質問・発言など積極的な態度で参加した                 | 6 | 3 | 0 | 0 | － | 0   | 4.7 | 4.5  |
| 12. 自分は指定図書を活用し、授業に参加した                      | 4 | 5 | 0 | 0 | － | 0   | 4.4 | 4.4  |
| 13. 自分は授業の事前・事後学習(課題を含む)を行った                 | 3 | 6 | 0 | 0 | － | 0   | 4.3 | 4.3  |
| 14. 自分は授業により、新しい知識、考え方、技能を習得できた              | 6 | 2 | 1 | 0 | － | 0   | 4.6 | 4.5  |
| 15. 自分は授業の履修目標は達成できた                         | 4 | 4 | 1 | 0 | － | 0   | 4.3 | 4.4  |
|                                              |   |   |   |   |   |     |     |      |
|                                              |   |   |   |   |   |     |     |      |
|                                              |   |   |   |   |   |     |     |      |
|                                              |   |   |   |   |   |     |     |      |
|                                              |   |   |   |   |   |     |     |      |

<回答分布>



<評価レーダーチャート>



自由記載に関するコメント

なし

結果全体に対するコメント

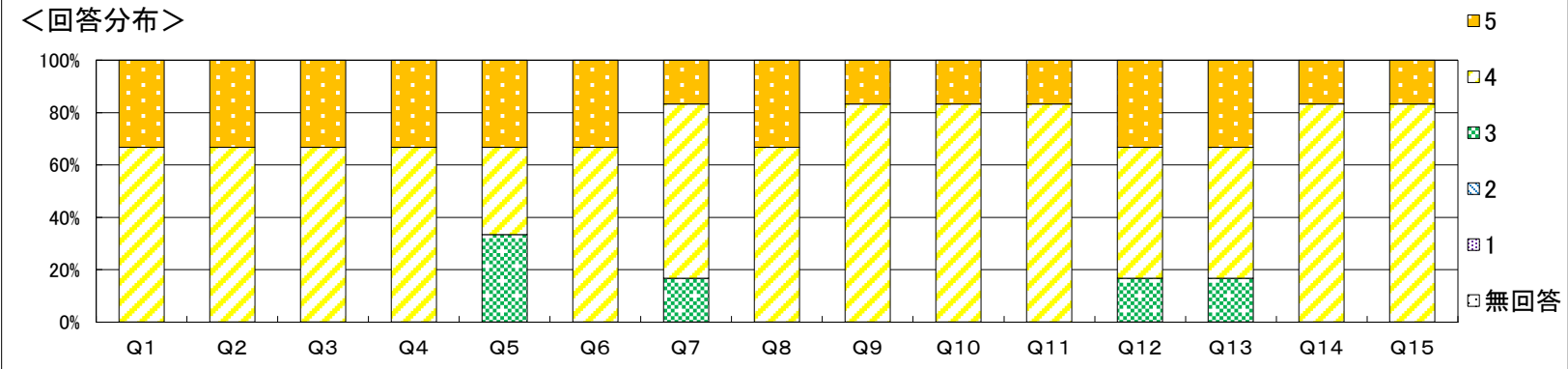
全体評価は、大体全体平均を上回っている。この科目は、演習科目であり、看護学部で習得した内容の復習も含んでいる。今年度は、助産に繋がる知識の獲得と実践で生かす演習を行った。この知識の部分でやや難易度が高くなったと考えられる。このため、よりわかりやすい説明を心がけ、自己での学習方法についても伝えていきたい。

|         |                                   |      |       |
|---------|-----------------------------------|------|-------|
| 科目名     | (500004) 4000042F11200200 助産薬理学 I |      |       |
| 学科      | 助産研究科                             | 履修者数 | 21人   |
| 学年      | 基礎1年                              | 回収数  | 6人    |
| 必修・選択の別 | 必修                                | 回収率  | 28.6% |

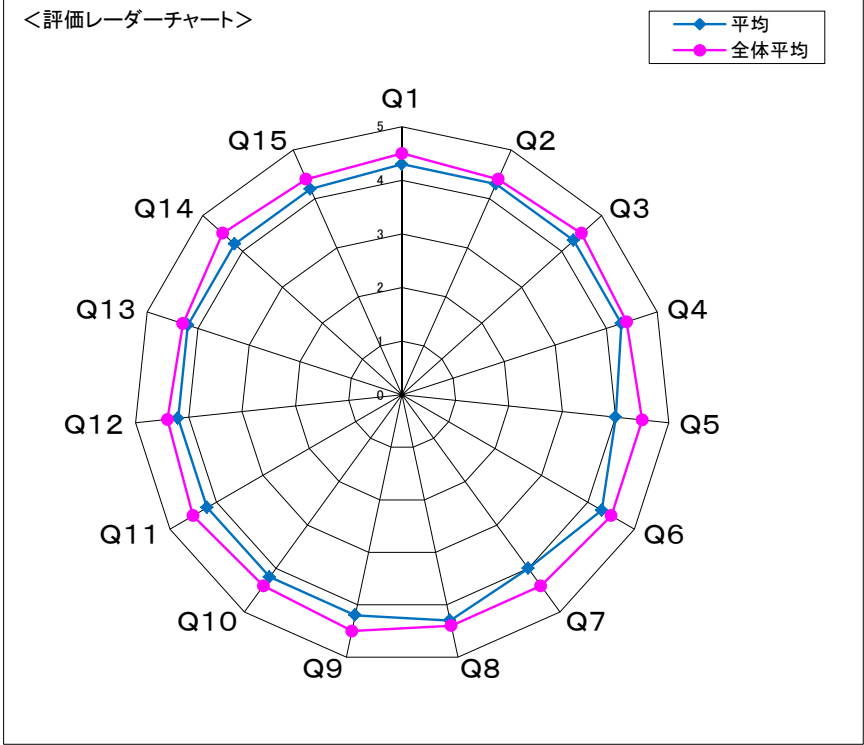
項目別回答分布(人数と平均値)

|                                              | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 無回答 | 平均  | 全体平均 |
|----------------------------------------------|---|---|---|---|---|-----|-----|------|
| 1. シラバスには、授業の概要・目標等が明確に記載されていた               | 2 | 4 | 0 | 0 | － | 0   | 4.3 | 4.5  |
| 2. 授業の構成は体系的に行われていた                          | 2 | 4 | 0 | 0 | － | 0   | 4.3 | 4.4  |
| 3. 授業の時間数は適当だった                              | 2 | 4 | 0 | 0 | － | 0   | 4.3 | 4.5  |
| 4. 授業の進行は適切だった                               | 2 | 4 | 0 | 0 | － | 0   | 4.3 | 4.4  |
| 5. 授業方法、形態(対話・討論型授業、グループワークなど)は適切だった         | 2 | 2 | 2 | 0 | － | 0   | 4.0 | 4.5  |
| 6. 視聴覚教材(黒板、パワーポイント、ビデオ、プリントなど)は理解の促進に効果的だった | 2 | 4 | 0 | 0 | － | 0   | 4.3 | 4.5  |
| 7. 授業内容はわかりやすく説明されていた                        | 1 | 4 | 1 | 0 | － | 0   | 4.0 | 4.4  |
| 8. 授業で要求される作業量(レポート、宿題など)は適切だった              | 2 | 4 | 0 | 0 | － | 0   | 4.3 | 4.4  |
| 9. 教員は効果的に院生の参加(発言、自己学習、作業など)を促した            | 1 | 5 | 0 | 0 | － | 0   | 4.2 | 4.5  |
| 10. 教員は院生の質問・発言等に適切に対応した                     | 1 | 5 | 0 | 0 | － | 0   | 4.2 | 4.4  |
| 11. 自分は授業に質問・発言など積極的な態度で参加した                 | 1 | 5 | 0 | 0 | － | 0   | 4.2 | 4.5  |
| 12. 自分は指定図書を活用し、授業に参加した                      | 2 | 3 | 1 | 0 | － | 0   | 4.2 | 4.4  |
| 13. 自分は授業の事前・事後学習(課題を含む)を行った                 | 2 | 3 | 1 | 0 | － | 0   | 4.2 | 4.3  |
| 14. 自分は授業により、新しい知識、考え方、技能を習得できた              | 1 | 5 | 0 | 0 | － | 0   | 4.2 | 4.5  |
| 15. 自分は授業の履修目標は達成できた                         | 1 | 5 | 0 | 0 | － | 0   | 4.2 | 4.4  |
|                                              |   |   |   |   |   |     |     |      |
|                                              |   |   |   |   |   |     |     |      |
|                                              |   |   |   |   |   |     |     |      |
|                                              |   |   |   |   |   |     |     |      |
|                                              |   |   |   |   |   |     |     |      |

<回答分布>



<評価レーダーチャート>



自由記載に関するコメント

結果全体に対するコメント

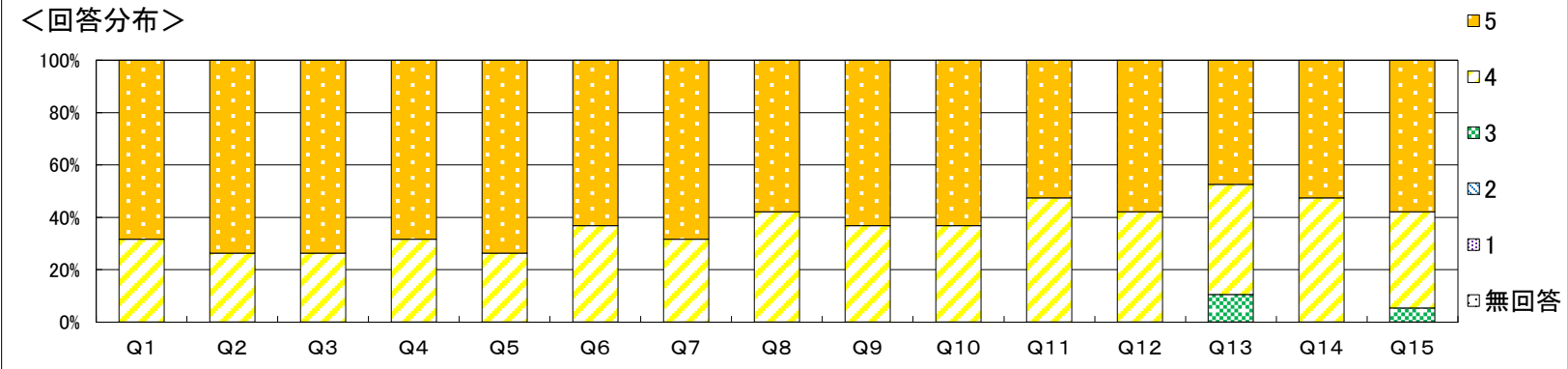
回収率が、21名受講者中6名であり、回収率を上げることが必要です。事前オリエンテーションでのアナウンスや最終講義日にアンケートを依頼することで回収率を上げていきたいと思います。

|         |                                      |      |       |
|---------|--------------------------------------|------|-------|
| 科目名     | (500006) 4000062F11200400 妊産褥婦乳幼児の栄養 |      |       |
| 学科      | 助産研究科                                | 履修者数 | 21人   |
| 学年      | 基礎1年                                 | 回収数  | 19人   |
| 必修・選択の別 | 必修                                   | 回収率  | 90.5% |

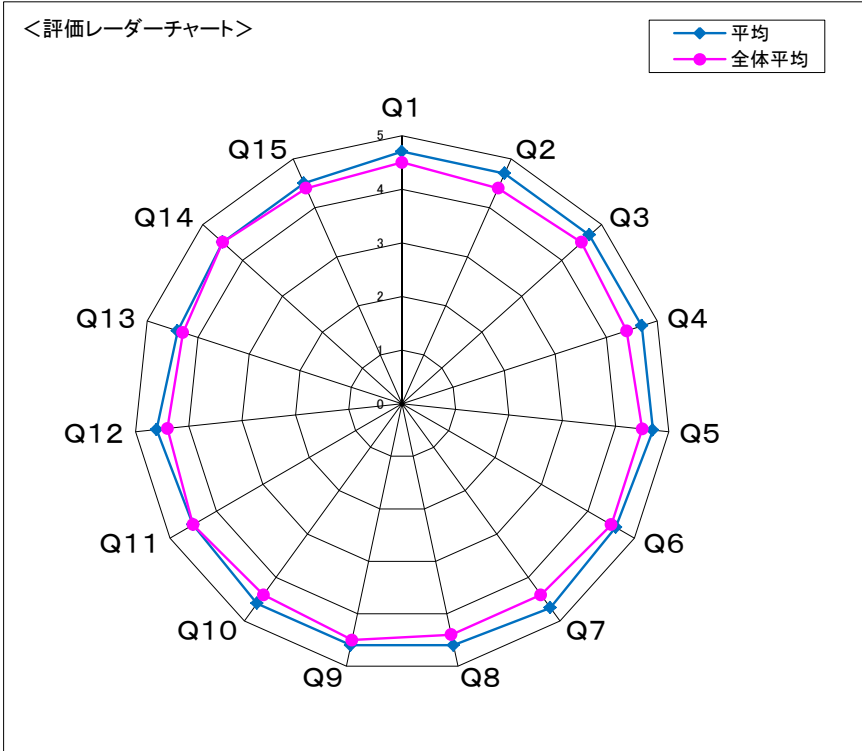
項目別回答分布(人数と平均値)

|                                              | 5  | 4 | 3 | 2 | 1 | 無回答 | 平均  | 全体平均 |
|----------------------------------------------|----|---|---|---|---|-----|-----|------|
| 1. シラバスには、授業の概要・目標等が明確に記載されていた               | 13 | 6 | 0 | 0 | － | 0   | 4.7 | 4.5  |
| 2. 授業の構成は体系的に行われていた                          | 14 | 5 | 0 | 0 | － | 0   | 4.7 | 4.4  |
| 3. 授業の時間数は適当だった                              | 14 | 5 | 0 | 0 | － | 0   | 4.7 | 4.5  |
| 4. 授業の進行は適切だった                               | 13 | 6 | 0 | 0 | － | 0   | 4.7 | 4.4  |
| 5. 授業方法、形態(対話・討論型授業、グループワークなど)は適切だった         | 14 | 5 | 0 | 0 | － | 0   | 4.7 | 4.5  |
| 6. 視聴覚教材(黒板、パワーポイント、ビデオ、プリントなど)は理解の促進に効果的だった | 12 | 7 | 0 | 0 | － | 0   | 4.6 | 4.5  |
| 7. 授業内容はわかりやすく説明されていた                        | 13 | 6 | 0 | 0 | － | 0   | 4.7 | 4.4  |
| 8. 授業で要求される作業量(レポート、宿題など)は適切だった              | 11 | 8 | 0 | 0 | － | 0   | 4.6 | 4.4  |
| 9. 教員は効果的に院生の参加(発言、自己学習、作業など)を促した            | 12 | 7 | 0 | 0 | － | 0   | 4.6 | 4.5  |
| 10. 教員は院生の質問・発言等に適切に対応した                     | 12 | 7 | 0 | 0 | － | 0   | 4.6 | 4.4  |
| 11. 自分は授業に質問・発言など積極的な態度で参加した                 | 10 | 9 | 0 | 0 | － | 0   | 4.5 | 4.5  |
| 12. 自分は指定図書を活用し、授業に参加した                      | 11 | 8 | 0 | 0 | － | 0   | 4.6 | 4.4  |
| 13. 自分は授業の事前・事後学習(課題を含む)を行った                 | 9  | 8 | 2 | 0 | － | 0   | 4.4 | 4.3  |
| 14. 自分は授業により、新しい知識、考え方、技能を習得できた              | 10 | 9 | 0 | 0 | － | 0   | 4.5 | 4.5  |
| 15. 自分は授業の履修目標は達成できた                         | 11 | 7 | 1 | 0 | － | 0   | 4.5 | 4.4  |
|                                              |    |   |   |   |   |     |     |      |
|                                              |    |   |   |   |   |     |     |      |
|                                              |    |   |   |   |   |     |     |      |
|                                              |    |   |   |   |   |     |     |      |
|                                              |    |   |   |   |   |     |     |      |

<回答分布>



<評価レーダーチャート>



自由記載に関するコメント

食事バランスガイドを用いて自らの食事を振り返る事や、妊娠期や離乳期の各期における変化に合わせたメニューを調べ、調理実践を行った事に対する評価記載があった。  
調理を行う対象の生活をイメージし、食材のや調理方法を工夫しておりし、グループワークでの学びの共有にて新しい気づきも得られていた。  
助産ケアとし手の食事指導について学修を深められたと考える。

結果全体に対するコメント

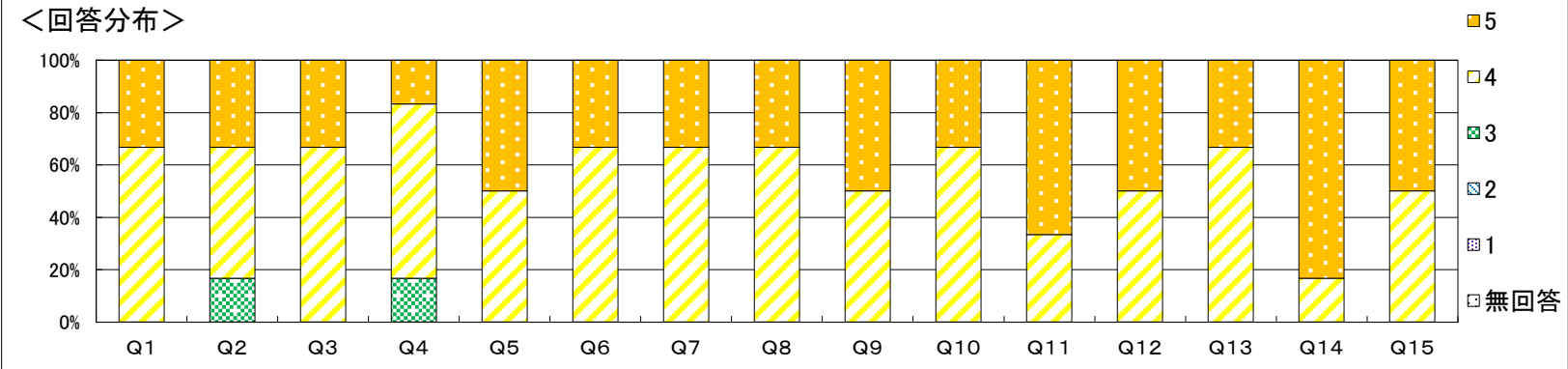
他項目と比較し、評価が低かった「事前・事後学習を行った」について、事前・事後学習の提示方法等、検討改善していきたい。

|         |                                 |      |       |
|---------|---------------------------------|------|-------|
| 科目名     | (500007) 4000072F11200500 助産女性学 |      |       |
| 学科      | 助産研究科                           | 履修者数 | 21人   |
| 学年      | 基礎1年                            | 回収数  | 6人    |
| 必修・選択の別 | 必修                              | 回収率  | 28.6% |

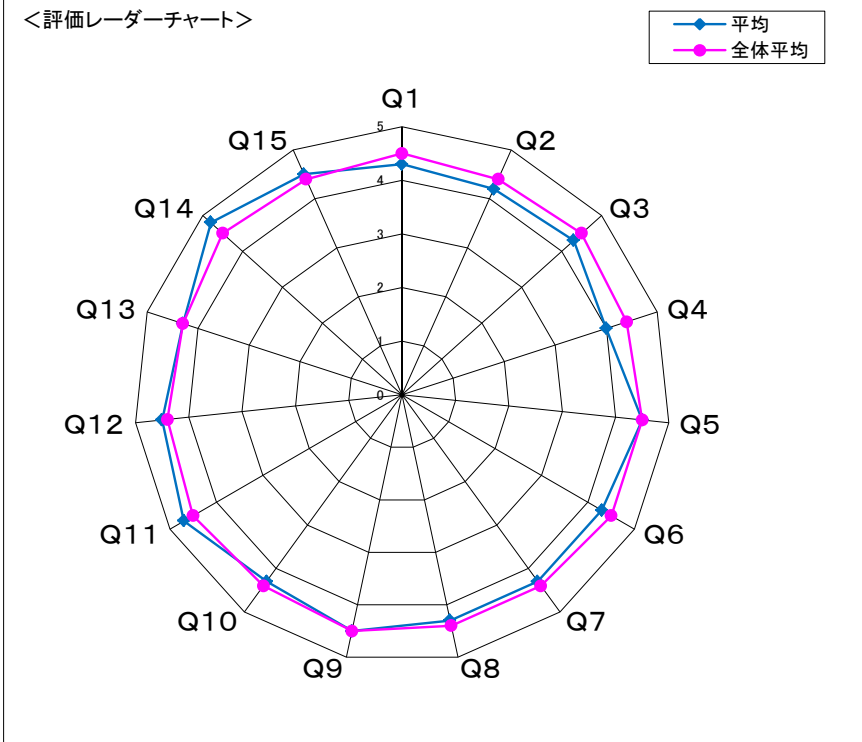
項目別回答分布(人数と平均値)

|                                              | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 無回答 | 平均  | 全体平均 |
|----------------------------------------------|---|---|---|---|---|-----|-----|------|
| 1. シラバスには、授業の概要・目標等が明確に記載されていた               | 2 | 4 | 0 | 0 | － | 0   | 4.3 | 4.5  |
| 2. 授業の構成は体系的に行われていた                          | 2 | 3 | 1 | 0 | － | 0   | 4.2 | 4.4  |
| 3. 授業の時間数は適当だった                              | 2 | 4 | 0 | 0 | － | 0   | 4.3 | 4.5  |
| 4. 授業の進行は適切だった                               | 1 | 4 | 1 | 0 | － | 0   | 4.0 | 4.4  |
| 5. 授業方法、形態(対話・討論型授業、グループワークなど)は適切だった         | 3 | 3 | 0 | 0 | － | 0   | 4.5 | 4.5  |
| 6. 視聴覚教材(黒板、パワーポイント、ビデオ、プリントなど)は理解の促進に効果的だった | 2 | 4 | 0 | 0 | － | 0   | 4.3 | 4.5  |
| 7. 授業内容はわかりやすく説明されていた                        | 2 | 4 | 0 | 0 | － | 0   | 4.3 | 4.4  |
| 8. 授業で要求される作業量(レポート、宿題など)は適切だった              | 2 | 4 | 0 | 0 | － | 0   | 4.3 | 4.4  |
| 9. 教員は効果的に院生の参加(発言、自己学習、作業など)を促した            | 3 | 3 | 0 | 0 | － | 0   | 4.5 | 4.5  |
| 10. 教員は院生の質問・発言等に適切に対応した                     | 2 | 4 | 0 | 0 | － | 0   | 4.3 | 4.4  |
| 11. 自分は授業に質問・発言など積極的な態度で参加した                 | 4 | 2 | 0 | 0 | － | 0   | 4.7 | 4.5  |
| 12. 自分は指定図書を活用し、授業に参加した                      | 3 | 3 | 0 | 0 | － | 0   | 4.5 | 4.4  |
| 13. 自分は授業の事前・事後学習(課題を含む)を行った                 | 2 | 4 | 0 | 0 | － | 0   | 4.3 | 4.3  |
| 14. 自分は授業により、新しい知識、考え方、技能を習得できた              | 5 | 1 | 0 | 0 | － | 0   | 4.8 | 4.5  |
| 15. 自分は授業の履修目標は達成できた                         | 3 | 3 | 0 | 0 | － | 0   | 4.5 | 4.4  |
|                                              |   |   |   |   |   |     |     |      |
|                                              |   |   |   |   |   |     |     |      |
|                                              |   |   |   |   |   |     |     |      |
|                                              |   |   |   |   |   |     |     |      |
|                                              |   |   |   |   |   |     |     |      |

<回答分布>



<評価レーダーチャート>



自由記載に関するコメント

自由記載なし

結果全体に対するコメント

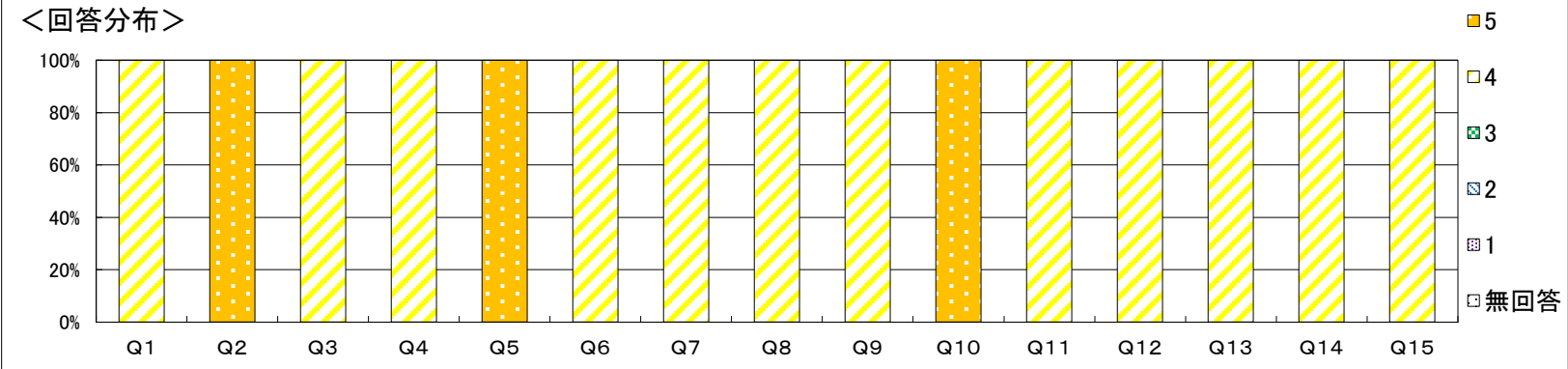
回答が28.6%であるため何とも言えない。  
Q4「授業の進行は適切だった」が若干ポイントとが低い。非常勤講師の都合により、授業が詰まっている中での集中講義となってしまったため、余裕がなく、このような回答となったことも考えられる。今後は実施時期を考える必要がある。  
Q11「・・・積極的な態度で参加した」、Q14「・・・新しい知識・・・を習得できた」は高ポイントとなっており、全員が「履修目標は達成できた」としている。とても興味を引く、今後にも役立つ内容で、主体的に学習してもらえたと捉える。

|         |                                      |      |      |
|---------|--------------------------------------|------|------|
| 科目名     | (500019) 40000192F11200600 助産カウンセリング |      |      |
| 学科      | 助産研究科                                | 履修者数 | 22人  |
| 学年      | 1                                    | 回収数  | 1人   |
| 必修・選択の別 | 必修                                   | 回収率  | 4.5% |

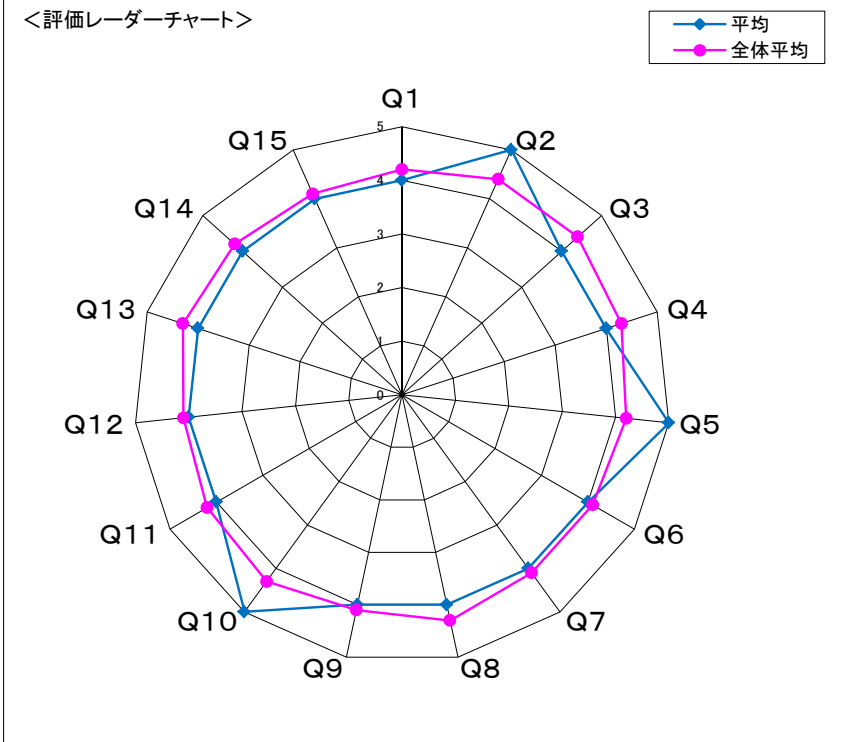
項目別回答分布(人数と平均値)

|                                              | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 無回答 | 平均  | 全体平均 |
|----------------------------------------------|---|---|---|---|---|-----|-----|------|
| 1. シラバスには、授業の概要・目標等が明確に記載されていた               | 0 | 1 | 0 | 0 | － | 0   | 4.0 | 4.2  |
| 2. 授業の構成は体系的に行われていた                          | 1 | 0 | 0 | 0 | － | 0   | 5.0 | 4.4  |
| 3. 授業の時間数は適当だった                              | 0 | 1 | 0 | 0 | － | 0   | 4.0 | 4.4  |
| 4. 授業の進行は適切だった                               | 0 | 1 | 0 | 0 | － | 0   | 4.0 | 4.3  |
| 5. 授業方法、形態(対話・討論型授業、グループワークなど)は適切だった         | 1 | 0 | 0 | 0 | － | 0   | 5.0 | 4.2  |
| 6. 視聴覚教材(黒板、パワーポイント、ビデオ、プリントなど)は理解の促進に効果的だった | 0 | 1 | 0 | 0 | － | 0   | 4.0 | 4.1  |
| 7. 授業内容はわかりやすく説明されていた                        | 0 | 1 | 0 | 0 | － | 0   | 4.0 | 4.1  |
| 8. 授業で要求される作業量(レポート、宿題など)は適切だった              | 0 | 1 | 0 | 0 | － | 0   | 4.0 | 4.3  |
| 9. 教員は効果的に院生の参加(発言、自己学習、作業など)を促した            | 0 | 1 | 0 | 0 | － | 0   | 4.0 | 4.1  |
| 10. 教員は院生の質問・発言等に適切に対応した                     | 1 | 0 | 0 | 0 | － | 0   | 5.0 | 4.3  |
| 11. 自分は授業に質問・発言など積極的な態度で参加した                 | 0 | 1 | 0 | 0 | － | 0   | 4.0 | 4.2  |
| 12. 自分は指定図書を活用し、授業に参加した                      | 0 | 1 | 0 | 0 | － | 0   | 4.0 | 4.1  |
| 13. 自分は授業の事前・事後学習(課題を含む)を行った                 | 0 | 1 | 0 | 0 | － | 0   | 4.0 | 4.3  |
| 14. 自分は授業により、新しい知識、考え方、技能を習得できた              | 0 | 1 | 0 | 0 | － | 0   | 4.0 | 4.2  |
| 15. 自分は授業の履修目標は達成できた                         | 0 | 1 | 0 | 0 | － | 0   | 4.0 | 4.1  |
|                                              |   |   |   |   |   |     |     |      |
|                                              |   |   |   |   |   |     |     |      |
|                                              |   |   |   |   |   |     |     |      |
|                                              |   |   |   |   |   |     |     |      |
|                                              |   |   |   |   |   |     |     |      |

<回答分布>



<評価レーダーチャート>



自由記載に関するコメント

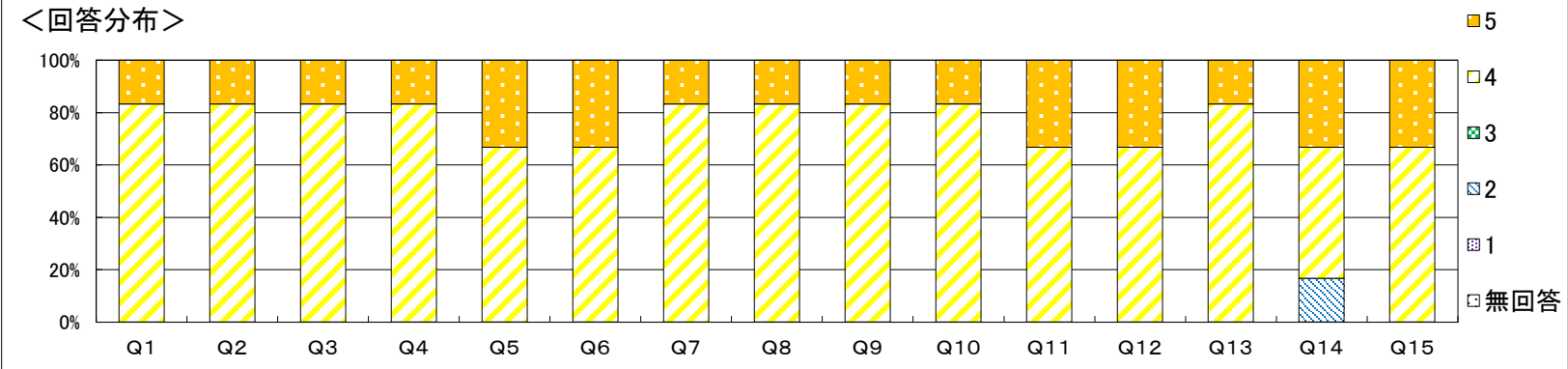
結果全体に対するコメント  
回答した院生1名の授業評価は概ね高評価(4～5)であったと考える。今後は、より効果的な授業の参考資料となるようアンケート回答者を増やす工夫である。

|         |                                   |      |       |
|---------|-----------------------------------|------|-------|
| 科目名     | (500008) 4000082F11200700 健康教育論 I |      |       |
| 学科      | 助産研究科                             | 履修者数 | 21人   |
| 学年      | 基礎1年                              | 回収数  | 6人    |
| 必修・選択の別 | 必修                                | 回収率  | 28.6% |

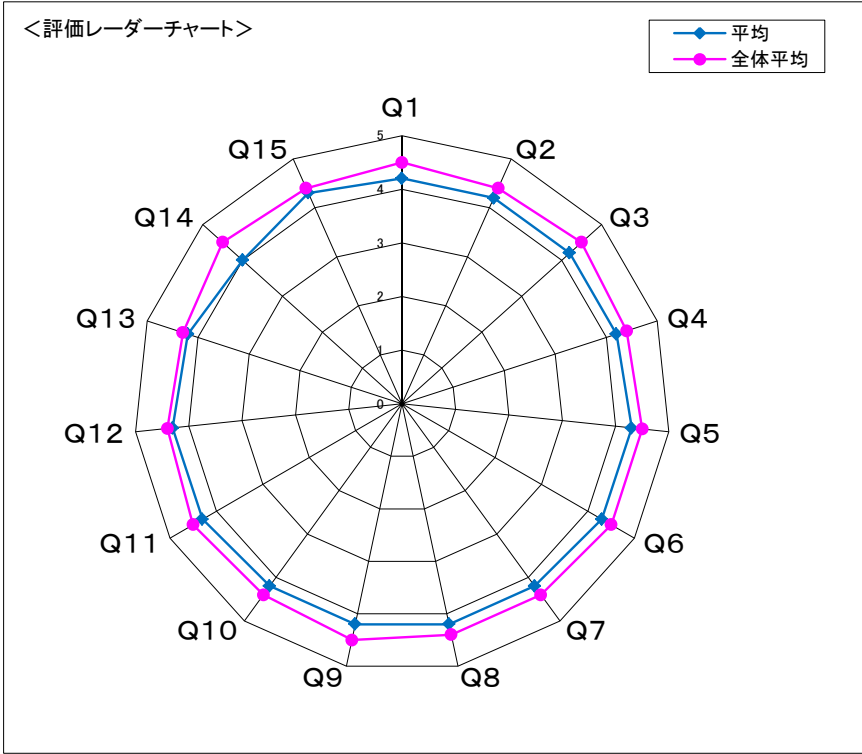
項目別回答分布(人数と平均値)

|                                              | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 無回答 | 平均  | 全体平均 |
|----------------------------------------------|---|---|---|---|---|-----|-----|------|
| 1. シラバスには、授業の概要・目標等が明確に記載されていた               | 1 | 5 | 0 | 0 | － | 0   | 4.2 | 4.5  |
| 2. 授業の構成は体系的に行われていた                          | 1 | 5 | 0 | 0 | － | 0   | 4.2 | 4.4  |
| 3. 授業の時間数は適当だった                              | 1 | 5 | 0 | 0 | － | 0   | 4.2 | 4.5  |
| 4. 授業の進行は適切だった                               | 1 | 5 | 0 | 0 | － | 0   | 4.2 | 4.4  |
| 5. 授業方法、形態(対話・討論型授業、グループワークなど)は適切だった         | 2 | 4 | 0 | 0 | － | 0   | 4.3 | 4.5  |
| 6. 視聴覚教材(黒板、パワーポイント、ビデオ、プリントなど)は理解の促進に効果的だった | 2 | 4 | 0 | 0 | － | 0   | 4.3 | 4.5  |
| 7. 授業内容はわかりやすく説明されていた                        | 1 | 5 | 0 | 0 | － | 0   | 4.2 | 4.4  |
| 8. 授業で要求される作業量(レポート、宿題など)は適切だった              | 1 | 5 | 0 | 0 | － | 0   | 4.2 | 4.4  |
| 9. 教員は効果的に院生の参加(発言、自己学習、作業など)を促した            | 1 | 5 | 0 | 0 | － | 0   | 4.2 | 4.5  |
| 10. 教員は院生の質問・発言等に適切に対応した                     | 1 | 5 | 0 | 0 | － | 0   | 4.2 | 4.4  |
| 11. 自分は授業に質問・発言など積極的な態度で参加した                 | 2 | 4 | 0 | 0 | － | 0   | 4.3 | 4.5  |
| 12. 自分は指定図書を活用し、授業に参加した                      | 2 | 4 | 0 | 0 | － | 0   | 4.3 | 4.4  |
| 13. 自分は授業の事前・事後学習(課題を含む)を行った                 | 1 | 5 | 0 | 0 | － | 0   | 4.2 | 4.3  |
| 14. 自分は授業により、新しい知識、考え方、技能を習得できた              | 2 | 3 | 0 | 1 | － | 0   | 4.0 | 4.5  |
| 15. 自分は授業の履修目標は達成できた                         | 2 | 4 | 0 | 0 | － | 0   | 4.3 | 4.4  |
|                                              |   |   |   |   |   |     |     |      |
|                                              |   |   |   |   |   |     |     |      |
|                                              |   |   |   |   |   |     |     |      |
|                                              |   |   |   |   |   |     |     |      |
|                                              |   |   |   |   |   |     |     |      |

<回答分布>



<評価レーダーチャート>



自由記載に関するコメント

結果全体に対するコメント

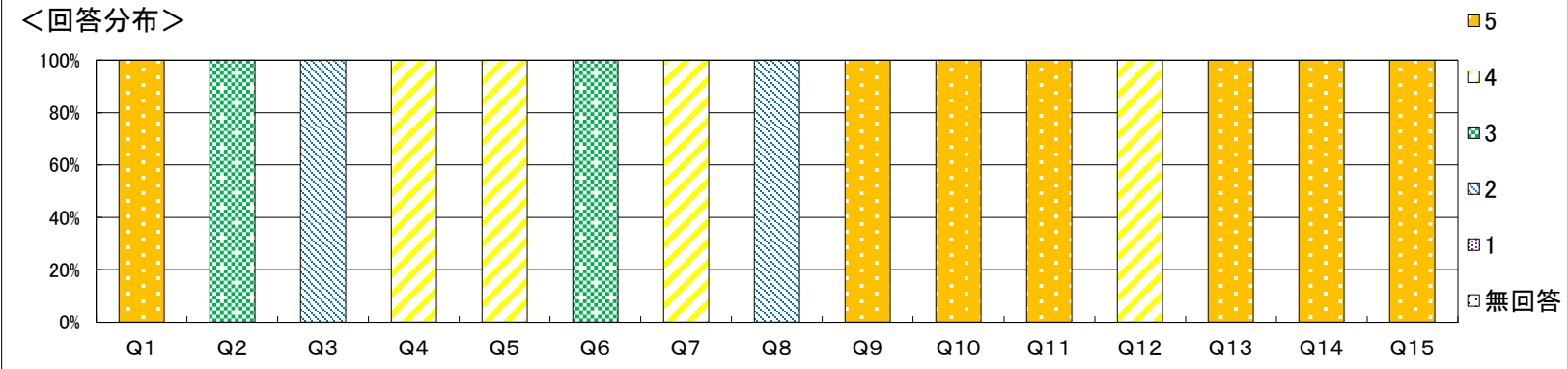
2年生の科目の健康教育論Ⅱで実施する両親学級を意識した授業の組み立てにしている。実習で実際に施設で行っている両親学級や母親学級を見学することで、イメージが付きやすいように工夫し、その時感じたことを忘れないように「これから必要とされる両親学級」というテーマでレポートを課題としている。コロナの影響で施設で見学した母親学級が、参加者の反応がわかりづらく、コミュニケーションしづらいため、その効果が理解しづらかったことが予測される。

|         |                                  |      |      |
|---------|----------------------------------|------|------|
| 科目名     | (500009) 4000092F11200800 健康教育論Ⅱ |      |      |
| 学科      | 助産研究科                            | 履修者数 | 20人  |
| 学年      | 基礎2年                             | 回収数  | 1人   |
| 必修・選択の別 | 必修                               | 回収率  | 5.0% |

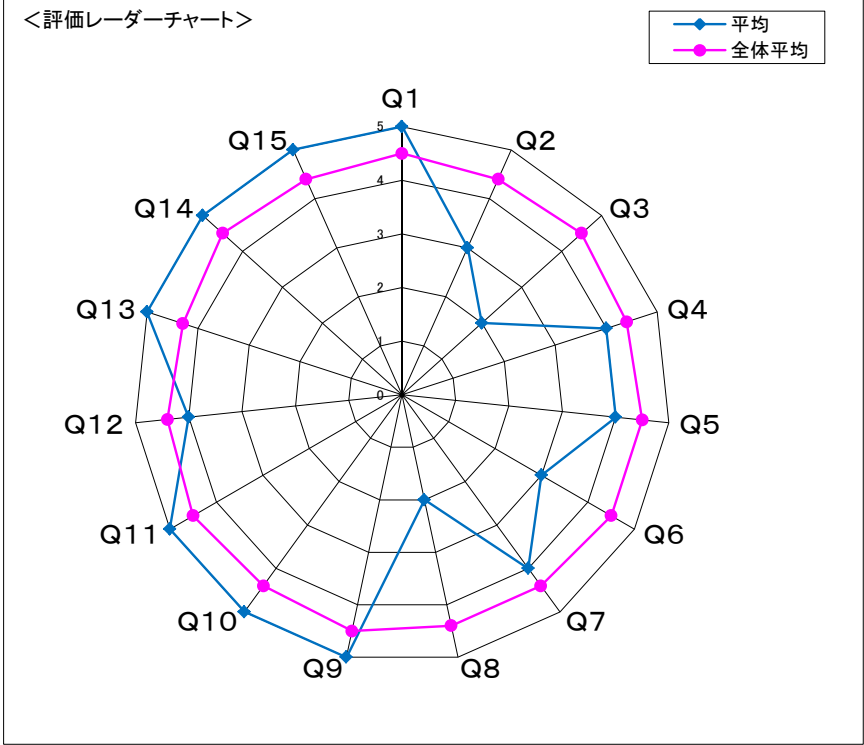
項目別回答分布(人数と平均値)

|                                              | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 無回答 | 平均  | 全体平均 |
|----------------------------------------------|---|---|---|---|---|-----|-----|------|
| 1. シラバスには、授業の概要・目標等が明確に記載されていた               | 1 | 0 | 0 | 0 | － | 0   | 5.0 | 4.5  |
| 2. 授業の構成は体系的に行われていた                          | 0 | 0 | 1 | 0 | － | 0   | 3.0 | 4.4  |
| 3. 授業の時間数は適当だった                              | 0 | 0 | 0 | 1 | － | 0   | 2.0 | 4.5  |
| 4. 授業の進行は適切だった                               | 0 | 1 | 0 | 0 | － | 0   | 4.0 | 4.4  |
| 5. 授業方法、形態(対話・討論型授業、グループワークなど)は適切だった         | 0 | 1 | 0 | 0 | － | 0   | 4.0 | 4.5  |
| 6. 視聴覚教材(黒板、パワーポイント、ビデオ、プリントなど)は理解の促進に効果的だった | 0 | 0 | 1 | 0 | － | 0   | 3.0 | 4.5  |
| 7. 授業内容はわかりやすく説明されていた                        | 0 | 1 | 0 | 0 | － | 0   | 4.0 | 4.4  |
| 8. 授業で要求される作業量(レポート、宿題など)は適切だった              | 0 | 0 | 0 | 1 | － | 0   | 2.0 | 4.4  |
| 9. 教員は効果的に院生の参加(発言、自己学習、作業など)を促した            | 1 | 0 | 0 | 0 | － | 0   | 5.0 | 4.5  |
| 10. 教員は院生の質問・発言等に適切に対応した                     | 1 | 0 | 0 | 0 | － | 0   | 5.0 | 4.4  |
| 11. 自分は授業に質問・発言など積極的な態度で参加した                 | 1 | 0 | 0 | 0 | － | 0   | 5.0 | 4.5  |
| 12. 自分は指定図書を活用し、授業に参加した                      | 0 | 1 | 0 | 0 | － | 0   | 4.0 | 4.4  |
| 13. 自分は授業の事前・事後学習(課題を含む)を行った                 | 1 | 0 | 0 | 0 | － | 0   | 5.0 | 4.3  |
| 14. 自分は授業により、新しい知識、考え方、技能を習得できた              | 1 | 0 | 0 | 0 | － | 0   | 5.0 | 4.5  |
| 15. 自分は授業の履修目標は達成できた                         | 1 | 0 | 0 | 0 | － | 0   | 5.0 | 4.4  |
|                                              |   |   |   |   |   |     |     |      |
|                                              |   |   |   |   |   |     |     |      |
|                                              |   |   |   |   |   |     |     |      |
|                                              |   |   |   |   |   |     |     |      |
|                                              |   |   |   |   |   |     |     |      |

<回答分布>



<評価レーダーチャート>



自由記載に関するコメント

結果全体に対するコメント

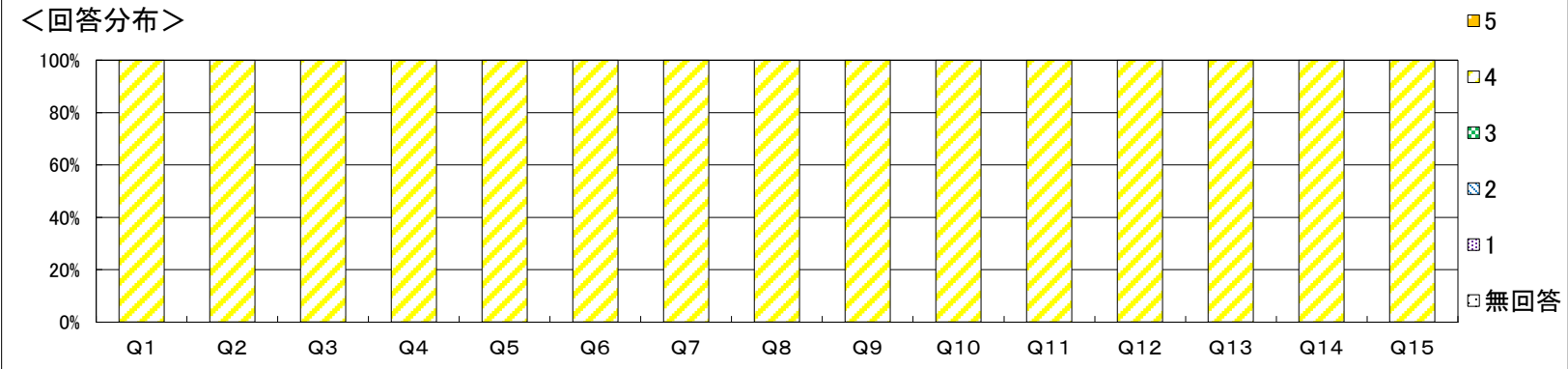
Web両親学級として動画づくりを実施した。Q3 ,8が低い点数となっているのは、時間が足りなかったことを意味すると予測する。しかしながら、学生が自主的に取り組む時期が遅く、提出時ギリギリとなっていた。学生が予測した以上に、編集などに時間がかかったと思われる。早期から取り組むことの必要性を再度伝えていく必要がある。

|         |                                  |      |      |
|---------|----------------------------------|------|------|
| 科目名     | (500020) 40000202F11200900 助産研究法 |      |      |
| 学科      | 助産研究科                            | 履修者数 | 22人  |
| 学年      | 1                                | 回収数  | 1人   |
| 必修・選択の別 | 必修                               | 回収率  | 4.5% |

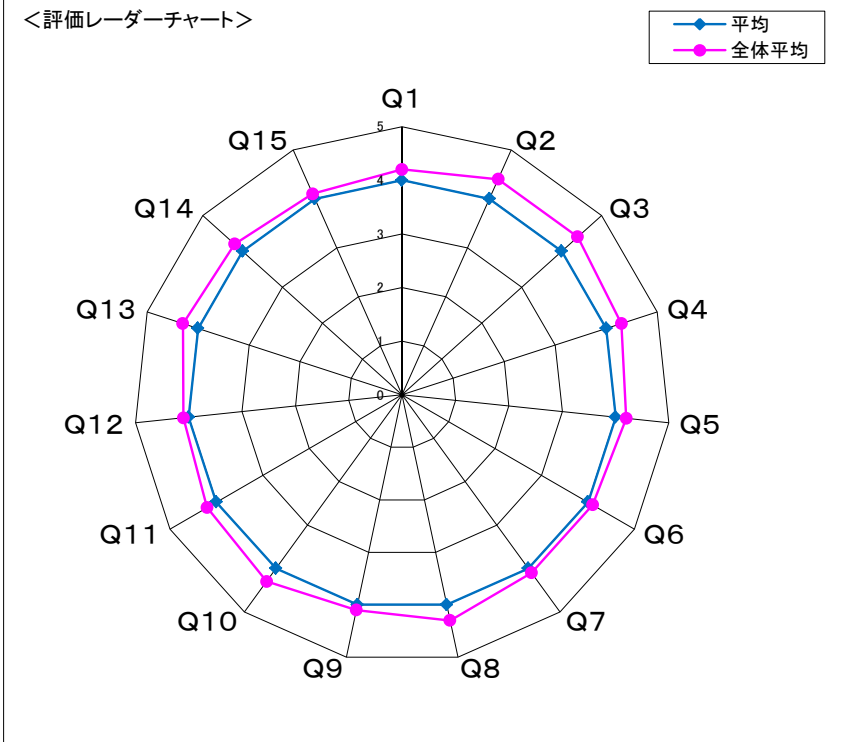
項目別回答分布(人数と平均値)

|                                              | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 無回答 | 平均  | 全体平均 |
|----------------------------------------------|---|---|---|---|---|-----|-----|------|
| 1. シラバスには、授業の概要・目標等が明確に記載されていた               | 0 | 1 | 0 | 0 | － | 0   | 4.0 | 4.2  |
| 2. 授業の構成は体系的に行われていた                          | 0 | 1 | 0 | 0 | － | 0   | 4.0 | 4.4  |
| 3. 授業の時間数は適当だった                              | 0 | 1 | 0 | 0 | － | 0   | 4.0 | 4.4  |
| 4. 授業の進行は適切だった                               | 0 | 1 | 0 | 0 | － | 0   | 4.0 | 4.3  |
| 5. 授業方法、形態(対話・討論型授業、グループワークなど)は適切だった         | 0 | 1 | 0 | 0 | － | 0   | 4.0 | 4.2  |
| 6. 視聴覚教材(黒板、パワーポイント、ビデオ、プリントなど)は理解の促進に効果的だった | 0 | 1 | 0 | 0 | － | 0   | 4.0 | 4.1  |
| 7. 授業内容はわかりやすく説明されていた                        | 0 | 1 | 0 | 0 | － | 0   | 4.0 | 4.1  |
| 8. 授業で要求される作業量(レポート、宿題など)は適切だった              | 0 | 1 | 0 | 0 | － | 0   | 4.0 | 4.3  |
| 9. 教員は効果的に院生の参加(発言、自己学習、作業など)を促した            | 0 | 1 | 0 | 0 | － | 0   | 4.0 | 4.1  |
| 10. 教員は院生の質問・発言等に適切に対応した                     | 0 | 1 | 0 | 0 | － | 0   | 4.0 | 4.3  |
| 11. 自分は授業に質問・発言など積極的な態度で参加した                 | 0 | 1 | 0 | 0 | － | 0   | 4.0 | 4.2  |
| 12. 自分は指定図書を活用し、授業に参加した                      | 0 | 1 | 0 | 0 | － | 0   | 4.0 | 4.1  |
| 13. 自分は授業の事前・事後学習(課題を含む)を行った                 | 0 | 1 | 0 | 0 | － | 0   | 4.0 | 4.3  |
| 14. 自分は授業により、新しい知識、考え方、技能を習得できた              | 0 | 1 | 0 | 0 | － | 0   | 4.0 | 4.2  |
| 15. 自分は授業の履修目標は達成できた                         | 0 | 1 | 0 | 0 | － | 0   | 4.0 | 4.1  |
|                                              |   |   |   |   |   |     |     |      |
|                                              |   |   |   |   |   |     |     |      |
|                                              |   |   |   |   |   |     |     |      |
|                                              |   |   |   |   |   |     |     |      |
|                                              |   |   |   |   |   |     |     |      |

<回答分布>



<評価レーダーチャート>



自由記載に関するコメント

倫理審査申請書の提出書類や、研究計画書の作成時期が、授業後数か月経過してからなので、そのときに各自授業の内容を思い出し、振り返りながら作成作業をすすめることができるよう、できるだけ具体的な説明と資料を授業時間内に提示できるよう工夫します。

結果全体に対するコメント

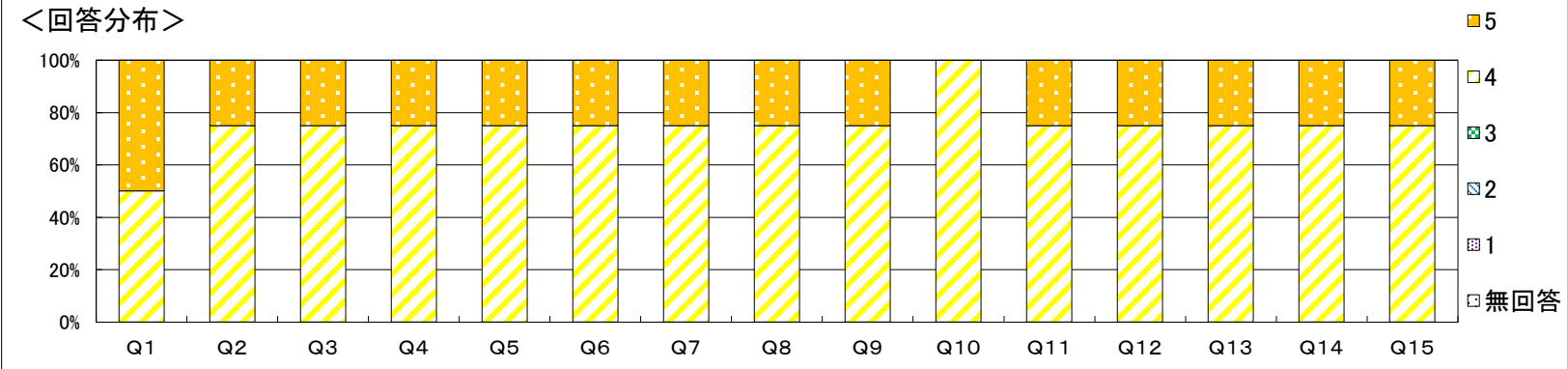
1名の回答ではありますが、概ね満足した結果でした。回答数を上げる工夫を検討します。

|         |                                     |      |       |
|---------|-------------------------------------|------|-------|
| 科目名     | (500013) 4000132F12100600 ハイリスク助産演習 |      |       |
| 学科      | 助産研究科                               | 履修者数 | 20人   |
| 学年      | 基礎2年                                | 回収数  | 4人    |
| 必修・選択の別 | 必修                                  | 回収率  | 20.0% |

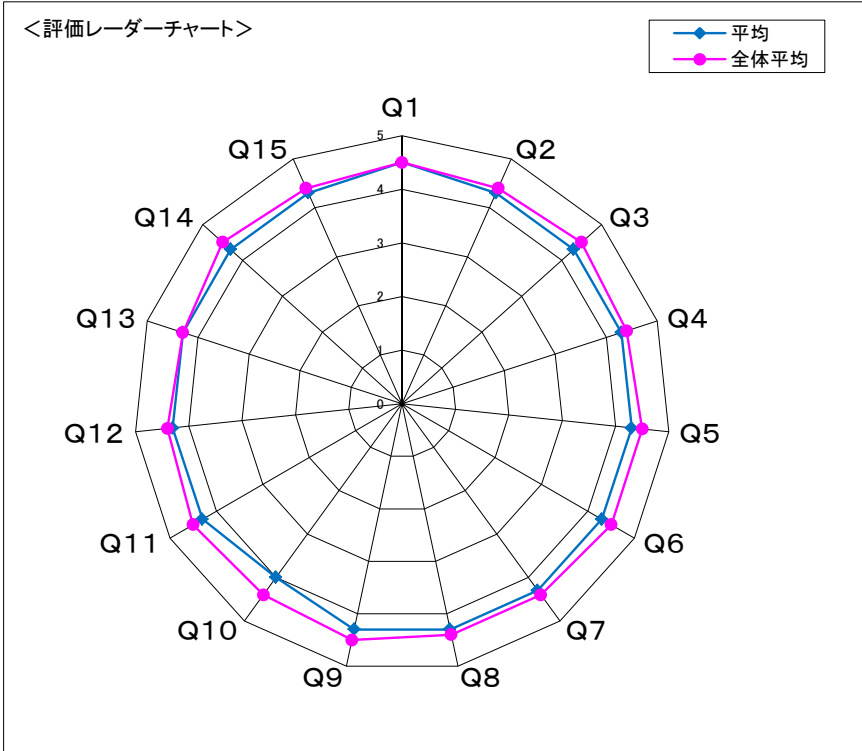
項目別回答分布(人数と平均値)

|                                              | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 無回答 | 平均  | 全体平均 |
|----------------------------------------------|---|---|---|---|---|-----|-----|------|
| 1. シラバスには、授業の概要・目標等が明確に記載されていた               | 2 | 2 | 0 | 0 | － | 0   | 4.5 | 4.5  |
| 2. 授業の構成は体系的に行われていた                          | 1 | 3 | 0 | 0 | － | 0   | 4.3 | 4.4  |
| 3. 授業の時間数は適当だった                              | 1 | 3 | 0 | 0 | － | 0   | 4.3 | 4.5  |
| 4. 授業の進行は適切だった                               | 1 | 3 | 0 | 0 | － | 0   | 4.3 | 4.4  |
| 5. 授業方法、形態(対話・討論型授業、グループワークなど)は適切だった         | 1 | 3 | 0 | 0 | － | 0   | 4.3 | 4.5  |
| 6. 視聴覚教材(黒板、パワーポイント、ビデオ、プリントなど)は理解の促進に効果的だった | 1 | 3 | 0 | 0 | － | 0   | 4.3 | 4.5  |
| 7. 授業内容はわかりやすく説明されていた                        | 1 | 3 | 0 | 0 | － | 0   | 4.3 | 4.4  |
| 8. 授業で要求される作業量(レポート、宿題など)は適切だった              | 1 | 3 | 0 | 0 | － | 0   | 4.3 | 4.4  |
| 9. 教員は効果的に院生の参加(発言、自己学習、作業など)を促した            | 1 | 3 | 0 | 0 | － | 0   | 4.3 | 4.5  |
| 10. 教員は院生の質問・発言等に適切に対応した                     | 0 | 4 | 0 | 0 | － | 0   | 4.0 | 4.4  |
| 11. 自分は授業に質問・発言など積極的な態度で参加した                 | 1 | 3 | 0 | 0 | － | 0   | 4.3 | 4.5  |
| 12. 自分は指定図書を活用し、授業に参加した                      | 1 | 3 | 0 | 0 | － | 0   | 4.3 | 4.4  |
| 13. 自分は授業の事前・事後学習(課題を含む)を行った                 | 1 | 3 | 0 | 0 | － | 0   | 4.3 | 4.3  |
| 14. 自分は授業により、新しい知識、考え方、技能を習得できた              | 1 | 3 | 0 | 0 | － | 0   | 4.3 | 4.5  |
| 15. 自分は授業の履修目標は達成できた                         | 1 | 3 | 0 | 0 | － | 0   | 4.3 | 4.4  |
|                                              |   |   |   |   |   |     |     |      |
|                                              |   |   |   |   |   |     |     |      |
|                                              |   |   |   |   |   |     |     |      |
|                                              |   |   |   |   |   |     |     |      |
|                                              |   |   |   |   |   |     |     |      |

<回答分布>



<評価レーダーチャート>



自由記載に関するコメント

結果全体に対するコメント

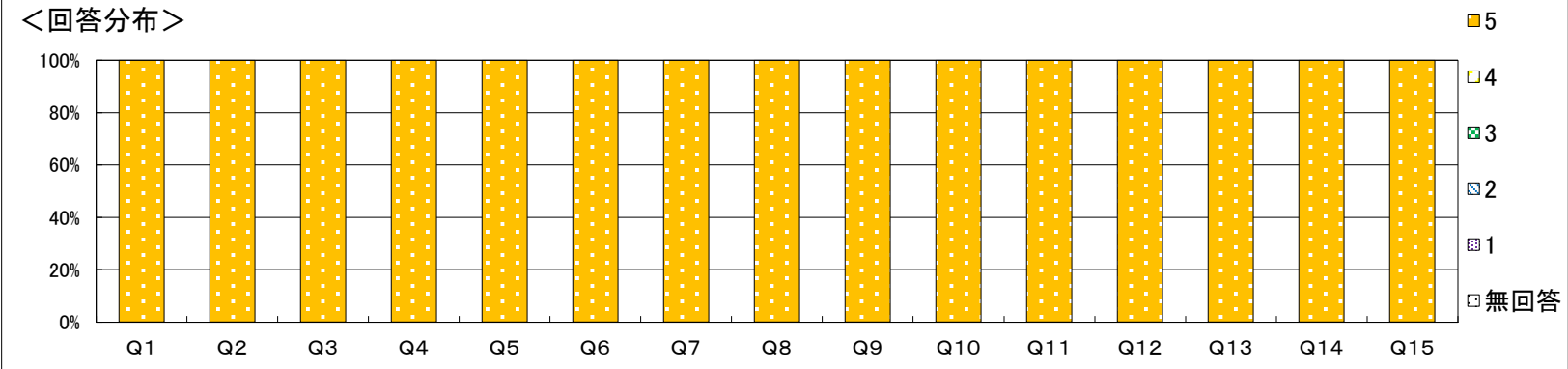
受講者20名中回収者が4名と回収率が低いので上げる必要があります。オリエンテーション時の事前アナウンスや終了日にアンケートに答えるように促して回収率を上げるようしたいと思います。

|         |                                    |      |       |
|---------|------------------------------------|------|-------|
| 科目名     | (500014) 4000142F12100700 独立助産実践概論 |      |       |
| 学科      | 助産研究科                              | 履修者数 | 20人   |
| 学年      | 基礎2年                               | 回収数  | 3人    |
| 必修・選択の別 | 必修                                 | 回収率  | 15.0% |

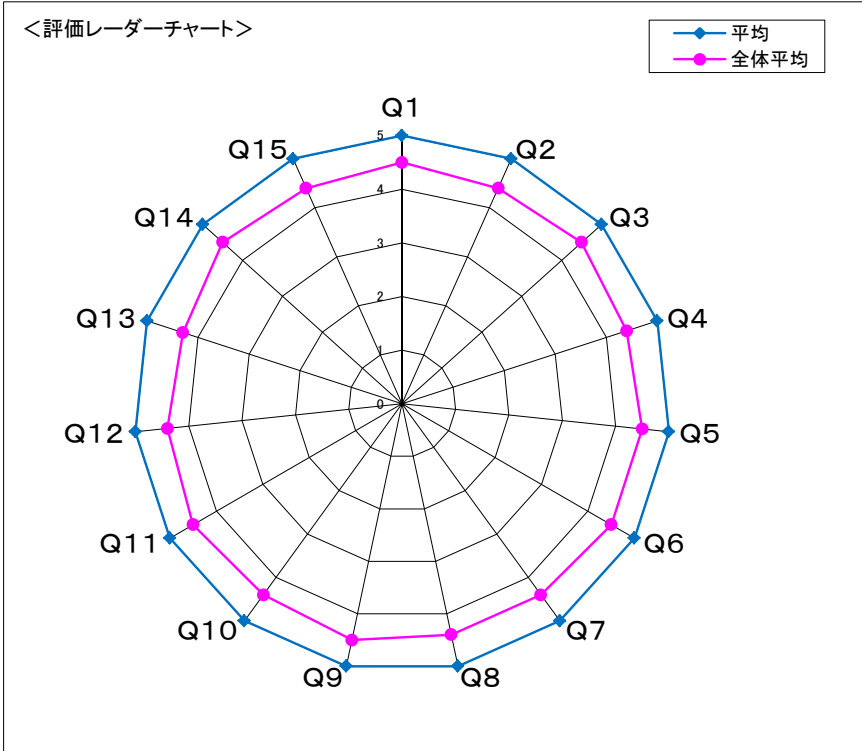
項目別回答分布(人数と平均値)

|                                              | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 無回答 | 平均  | 全体平均 |
|----------------------------------------------|---|---|---|---|---|-----|-----|------|
| 1. シラバスには、授業の概要・目標等が明確に記載されていた               | 3 | 0 | 0 | 0 | － | 0   | 5.0 | 4.5  |
| 2. 授業の構成は体系的に行われていた                          | 3 | 0 | 0 | 0 | － | 0   | 5.0 | 4.4  |
| 3. 授業の時間数は適当だった                              | 3 | 0 | 0 | 0 | － | 0   | 5.0 | 4.5  |
| 4. 授業の進行は適切だった                               | 3 | 0 | 0 | 0 | － | 0   | 5.0 | 4.4  |
| 5. 授業方法、形態(対話・討論型授業、グループワークなど)は適切だった         | 3 | 0 | 0 | 0 | － | 0   | 5.0 | 4.5  |
| 6. 視聴覚教材(黒板、パワーポイント、ビデオ、プリントなど)は理解の促進に効果的だった | 3 | 0 | 0 | 0 | － | 0   | 5.0 | 4.5  |
| 7. 授業内容はわかりやすく説明されていた                        | 3 | 0 | 0 | 0 | － | 0   | 5.0 | 4.4  |
| 8. 授業で要求される作業量(レポート、宿題など)は適切だった              | 3 | 0 | 0 | 0 | － | 0   | 5.0 | 4.4  |
| 9. 教員は効果的に院生の参加(発言、自己学習、作業など)を促した            | 3 | 0 | 0 | 0 | － | 0   | 5.0 | 4.5  |
| 10. 教員は院生の質問・発言等に適切に対応した                     | 3 | 0 | 0 | 0 | － | 0   | 5.0 | 4.4  |
| 11. 自分は授業に質問・発言など積極的な態度で参加した                 | 3 | 0 | 0 | 0 | － | 0   | 5.0 | 4.5  |
| 12. 自分は指定図書を活用し、授業に参加した                      | 3 | 0 | 0 | 0 | － | 0   | 5.0 | 4.4  |
| 13. 自分は授業の事前・事後学習(課題を含む)を行った                 | 3 | 0 | 0 | 0 | － | 0   | 5.0 | 4.3  |
| 14. 自分は授業により、新しい知識、考え方、技能を習得できた              | 3 | 0 | 0 | 0 | － | 0   | 5.0 | 4.5  |
| 15. 自分は授業の履修目標は達成できた                         | 3 | 0 | 0 | 0 | － | 0   | 5.0 | 4.4  |
|                                              |   |   |   |   |   |     |     |      |
|                                              |   |   |   |   |   |     |     |      |
|                                              |   |   |   |   |   |     |     |      |
|                                              |   |   |   |   |   |     |     |      |
|                                              |   |   |   |   |   |     |     |      |

<回答分布>



<評価レーダーチャート>



自由記載に関するコメント

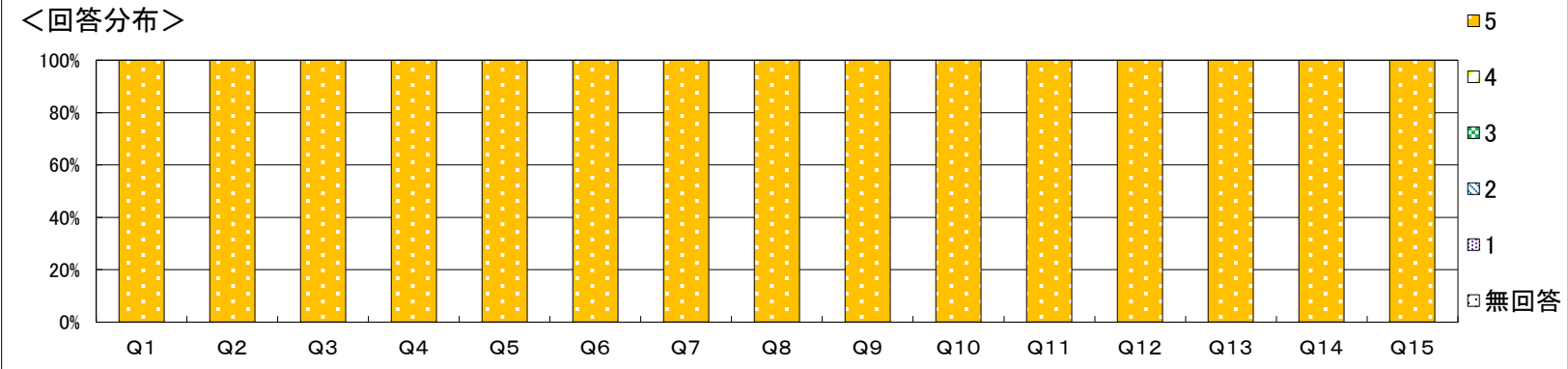
結果全体に対するコメント

|         |                                  |      |      |
|---------|----------------------------------|------|------|
| 科目名     | (500015) 4000152F12100800 独立助産演習 |      |      |
| 学科      | 助産研究科                            | 履修者数 | 20人  |
| 学年      | 基礎2年                             | 回収数  | 1人   |
| 必修・選択の別 | 必修                               | 回収率  | 5.0% |

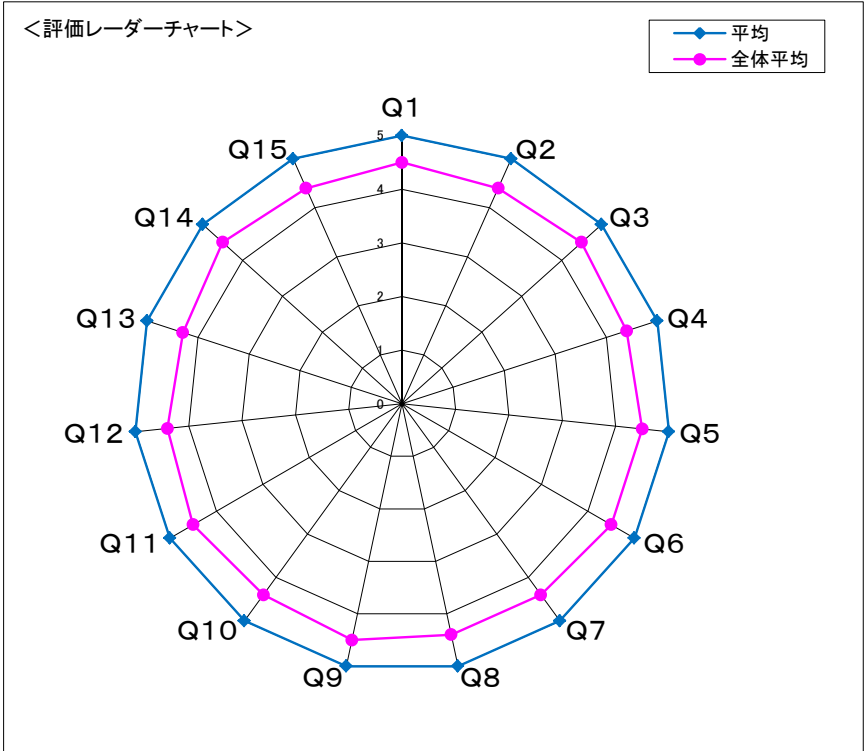
項目別回答分布(人数と平均値)

|                                              | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 無回答 | 平均  | 全体平均 |
|----------------------------------------------|---|---|---|---|---|-----|-----|------|
| 1. シラバスには、授業の概要・目標等が明確に記載されていた               | 1 | 0 | 0 | 0 | － | 0   | 5.0 | 4.5  |
| 2. 授業の構成は体系的に行われていた                          | 1 | 0 | 0 | 0 | － | 0   | 5.0 | 4.4  |
| 3. 授業の時間数は適当だった                              | 1 | 0 | 0 | 0 | － | 0   | 5.0 | 4.5  |
| 4. 授業の進行は適切だった                               | 1 | 0 | 0 | 0 | － | 0   | 5.0 | 4.4  |
| 5. 授業方法、形態(対話・討論型授業、グループワークなど)は適切だった         | 1 | 0 | 0 | 0 | － | 0   | 5.0 | 4.5  |
| 6. 視聴覚教材(黒板、パワーポイント、ビデオ、プリントなど)は理解の促進に効果的だった | 1 | 0 | 0 | 0 | － | 0   | 5.0 | 4.5  |
| 7. 授業内容はわかりやすく説明されていた                        | 1 | 0 | 0 | 0 | － | 0   | 5.0 | 4.4  |
| 8. 授業で要求される作業量(レポート、宿題など)は適切だった              | 1 | 0 | 0 | 0 | － | 0   | 5.0 | 4.4  |
| 9. 教員は効果的に院生の参加(発言、自己学習、作業など)を促した            | 1 | 0 | 0 | 0 | － | 0   | 5.0 | 4.5  |
| 10. 教員は院生の質問・発言等に適切に対応した                     | 1 | 0 | 0 | 0 | － | 0   | 5.0 | 4.4  |
| 11. 自分は授業に質問・発言など積極的な態度で参加した                 | 1 | 0 | 0 | 0 | － | 0   | 5.0 | 4.5  |
| 12. 自分は指定図書を活用し、授業に参加した                      | 1 | 0 | 0 | 0 | － | 0   | 5.0 | 4.4  |
| 13. 自分は授業の事前・事後学習(課題を含む)を行った                 | 1 | 0 | 0 | 0 | － | 0   | 5.0 | 4.3  |
| 14. 自分は授業により、新しい知識、考え方、技能を習得できた              | 1 | 0 | 0 | 0 | － | 0   | 5.0 | 4.5  |
| 15. 自分は授業の履修目標は達成できた                         | 1 | 0 | 0 | 0 | － | 0   | 5.0 | 4.4  |
|                                              |   |   |   |   |   |     |     |      |
|                                              |   |   |   |   |   |     |     |      |
|                                              |   |   |   |   |   |     |     |      |
|                                              |   |   |   |   |   |     |     |      |
|                                              |   |   |   |   |   |     |     |      |

<回答分布>



<評価レーダーチャート>



自由記載に関するコメント

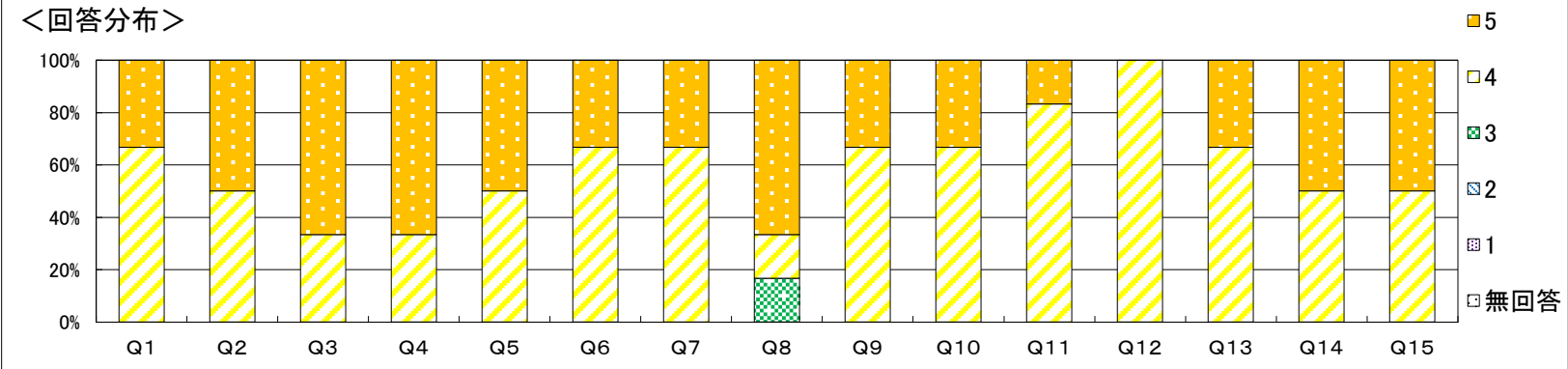
結果全体に対するコメント

|         |                                     |      |       |
|---------|-------------------------------------|------|-------|
| 科目名     | (500028) 40000282F13100100 子育て支援論 I |      |       |
| 学科      | 助産研究科                               | 履修者数 | 22人   |
| 学年      | 1                                   | 回収数  | 6人    |
| 必修・選択の別 | 必修                                  | 回収率  | 27.3% |

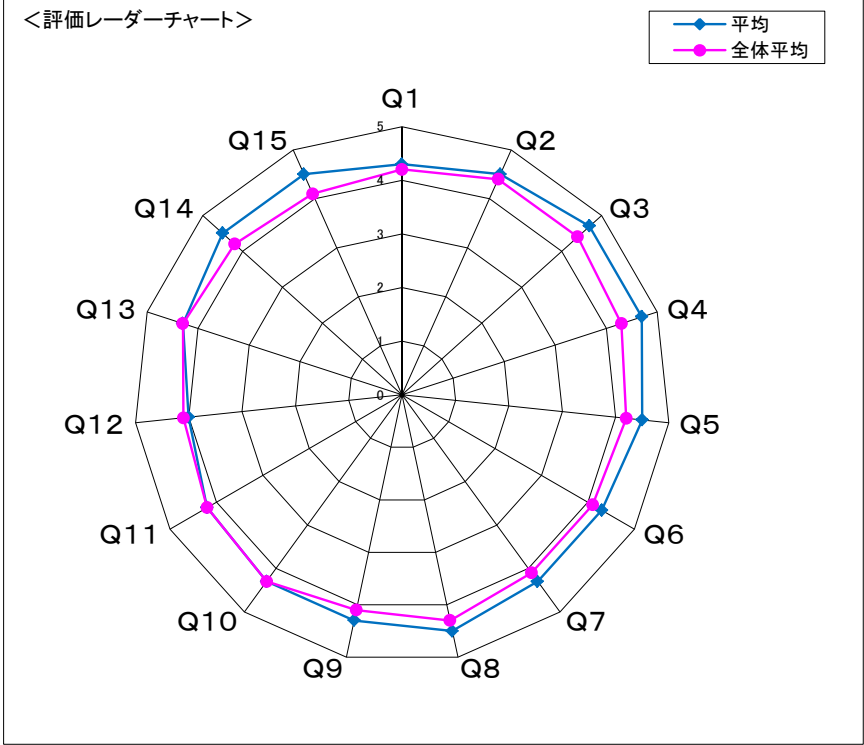
項目別回答分布(人数と平均値)

|                                              | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 無回答 | 平均  | 全体平均 |
|----------------------------------------------|---|---|---|---|---|-----|-----|------|
| 1. シラバスには、授業の概要・目標等が明確に記載されていた               | 2 | 4 | 0 | 0 | － | 0   | 4.3 | 4.2  |
| 2. 授業の構成は体系的に行われていた                          | 3 | 3 | 0 | 0 | － | 0   | 4.5 | 4.4  |
| 3. 授業の時間数は適当だった                              | 4 | 2 | 0 | 0 | － | 0   | 4.7 | 4.4  |
| 4. 授業の進行は適切だった                               | 4 | 2 | 0 | 0 | － | 0   | 4.7 | 4.3  |
| 5. 授業方法、形態(対話・討論型授業、グループワークなど)は適切だった         | 3 | 3 | 0 | 0 | － | 0   | 4.5 | 4.2  |
| 6. 視聴覚教材(黒板、パワーポイント、ビデオ、プリントなど)は理解の促進に効果的だった | 2 | 4 | 0 | 0 | － | 0   | 4.3 | 4.1  |
| 7. 授業内容はわかりやすく説明されていた                        | 2 | 4 | 0 | 0 | － | 0   | 4.3 | 4.1  |
| 8. 授業で要求される作業量(レポート、宿題など)は適切だった              | 4 | 1 | 1 | 0 | － | 0   | 4.5 | 4.3  |
| 9. 教員は効果的に院生の参加(発言、自己学習、作業など)を促した            | 2 | 4 | 0 | 0 | － | 0   | 4.3 | 4.1  |
| 10. 教員は院生の質問・発言等に適切に対応した                     | 2 | 4 | 0 | 0 | － | 0   | 4.3 | 4.3  |
| 11. 自分は授業に質問・発言など積極的な態度で参加した                 | 1 | 5 | 0 | 0 | － | 0   | 4.2 | 4.2  |
| 12. 自分は指定図書を活用し、授業に参加した                      | 0 | 6 | 0 | 0 | － | 0   | 4.0 | 4.1  |
| 13. 自分は授業の事前・事後学習(課題を含む)を行った                 | 2 | 4 | 0 | 0 | － | 0   | 4.3 | 4.3  |
| 14. 自分は授業により、新しい知識、考え方、技能を習得できた              | 3 | 3 | 0 | 0 | － | 0   | 4.5 | 4.2  |
| 15. 自分は授業の履修目標は達成できた                         | 3 | 3 | 0 | 0 | － | 0   | 4.5 | 4.1  |
|                                              |   |   |   |   |   |     |     |      |
|                                              |   |   |   |   |   |     |     |      |
|                                              |   |   |   |   |   |     |     |      |
|                                              |   |   |   |   |   |     |     |      |
|                                              |   |   |   |   |   |     |     |      |

<回答分布>



<評価レーダーチャート>



自由記載に関するコメント

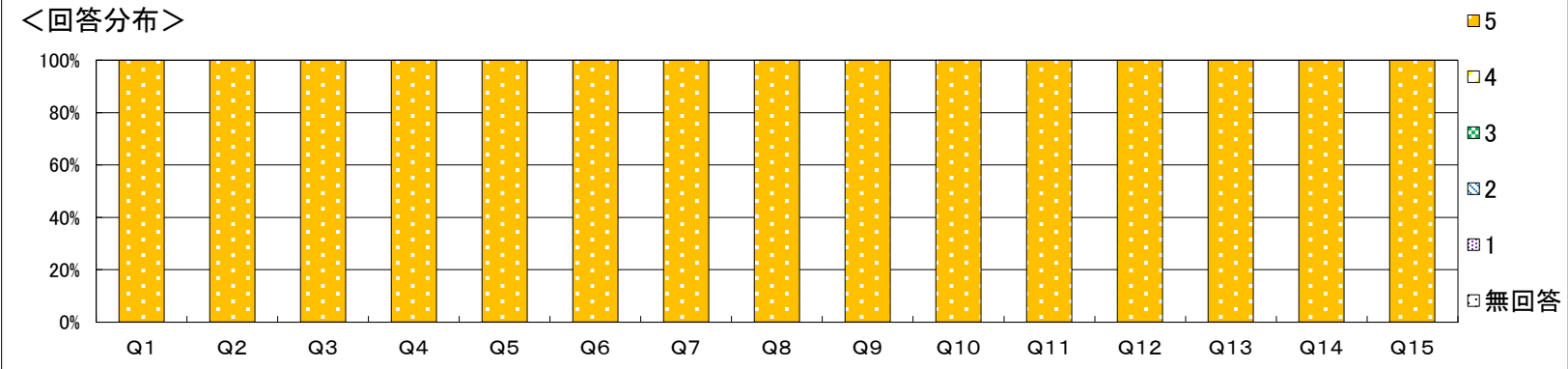
結果全体に対するコメント  
回収率が27.3%と低いので、講義終了後に回答を促す必要がある。そのためには、学生に周知させたいと考える。低い回収率であるため一概に言えないが、4～5であるので学習の目標はある程度達成されたと思う。1名が課題やレポートの量が3評価であり、課題提出の時期や量を検討する必要がある。

|         |                                 |      |      |
|---------|---------------------------------|------|------|
| 科目名     | (500016) 4000162F13100400 性教育 I |      |      |
| 学科      | 助産研究科                           | 履修者数 | 20人  |
| 学年      | 基礎2年                            | 回収数  | 1人   |
| 必修・選択の別 | 必修                              | 回収率  | 5.0% |

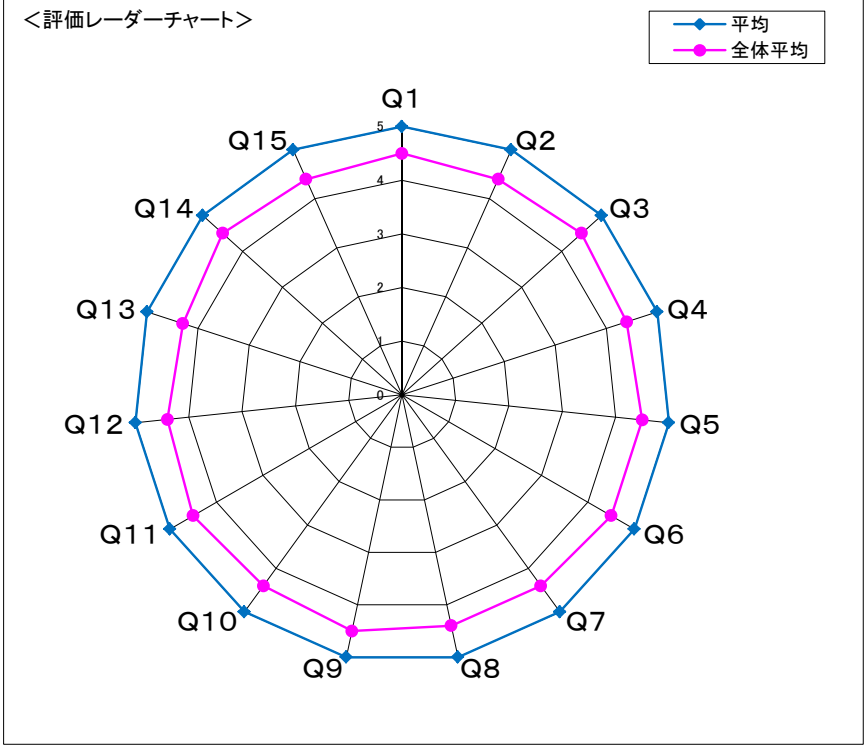
項目別回答分布(人数と平均値)

|                                              | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 無回答 | 平均  | 全体平均 |
|----------------------------------------------|---|---|---|---|---|-----|-----|------|
| 1. シラバスには、授業の概要・目標等が明確に記載されていた               | 1 | 0 | 0 | 0 | － | 0   | 5.0 | 4.5  |
| 2. 授業の構成は体系的に行われていた                          | 1 | 0 | 0 | 0 | － | 0   | 5.0 | 4.4  |
| 3. 授業の時間数は適当だった                              | 1 | 0 | 0 | 0 | － | 0   | 5.0 | 4.5  |
| 4. 授業の進行は適切だった                               | 1 | 0 | 0 | 0 | － | 0   | 5.0 | 4.4  |
| 5. 授業方法、形態(対話・討論型授業、グループワークなど)は適切だった         | 1 | 0 | 0 | 0 | － | 0   | 5.0 | 4.5  |
| 6. 視聴覚教材(黒板、パワーポイント、ビデオ、プリントなど)は理解の促進に効果的だった | 1 | 0 | 0 | 0 | － | 0   | 5.0 | 4.5  |
| 7. 授業内容はわかりやすく説明されていた                        | 1 | 0 | 0 | 0 | － | 0   | 5.0 | 4.4  |
| 8. 授業で要求される作業量(レポート、宿題など)は適切だった              | 1 | 0 | 0 | 0 | － | 0   | 5.0 | 4.4  |
| 9. 教員は効果的に院生の参加(発言、自己学習、作業など)を促した            | 1 | 0 | 0 | 0 | － | 0   | 5.0 | 4.5  |
| 10. 教員は院生の質問・発言等に適切に対応した                     | 1 | 0 | 0 | 0 | － | 0   | 5.0 | 4.4  |
| 11. 自分は授業に質問・発言など積極的な態度で参加した                 | 1 | 0 | 0 | 0 | － | 0   | 5.0 | 4.5  |
| 12. 自分は指定図書を活用し、授業に参加した                      | 1 | 0 | 0 | 0 | － | 0   | 5.0 | 4.4  |
| 13. 自分は授業の事前・事後学習(課題を含む)を行った                 | 1 | 0 | 0 | 0 | － | 0   | 5.0 | 4.3  |
| 14. 自分は授業により、新しい知識、考え方、技能を習得できた              | 1 | 0 | 0 | 0 | － | 0   | 5.0 | 4.5  |
| 15. 自分は授業の履修目標は達成できた                         | 1 | 0 | 0 | 0 | － | 0   | 5.0 | 4.4  |
|                                              |   |   |   |   |   |     |     |      |
|                                              |   |   |   |   |   |     |     |      |
|                                              |   |   |   |   |   |     |     |      |
|                                              |   |   |   |   |   |     |     |      |
|                                              |   |   |   |   |   |     |     |      |

<回答分布>



<評価レーダーチャート>



自由記載に関するコメント  
なし

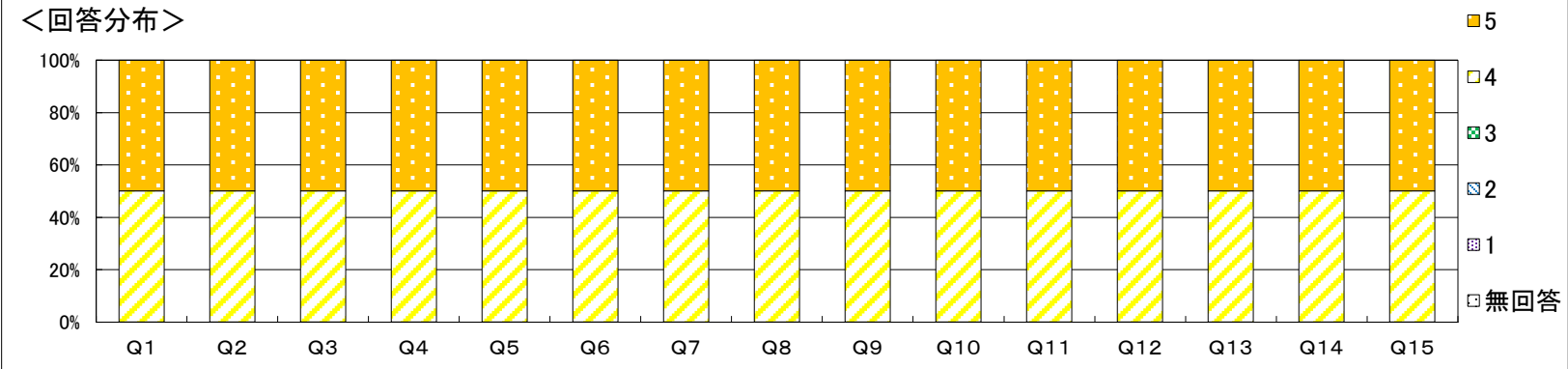
結果全体に対するコメント  
性教育 I は、4月に集中的に講義をうけ、8月までにGWを主体的に行いながら、性教育模擬授業の発表する。どのグループも模擬授業は積極的に参加し、その後の意見交換も活発に行い、学びは深まったと考える。しかし、終了時間前に授業を終了し、回答の声かけをしたが、回答には繋がらなかった。今後は、アンケートへ回答後、授業終了する等工夫し、回答率をあげたい。

|         |                                       |      |      |
|---------|---------------------------------------|------|------|
| 科目名     | (500029) 40000292F13100700 ウィメンズヘルス I |      |      |
| 学科      | 助産研究科                                 | 履修者数 | 22人  |
| 学年      | 1                                     | 回収数  | 2人   |
| 必修・選択の別 | 必修                                    | 回収率  | 9.1% |

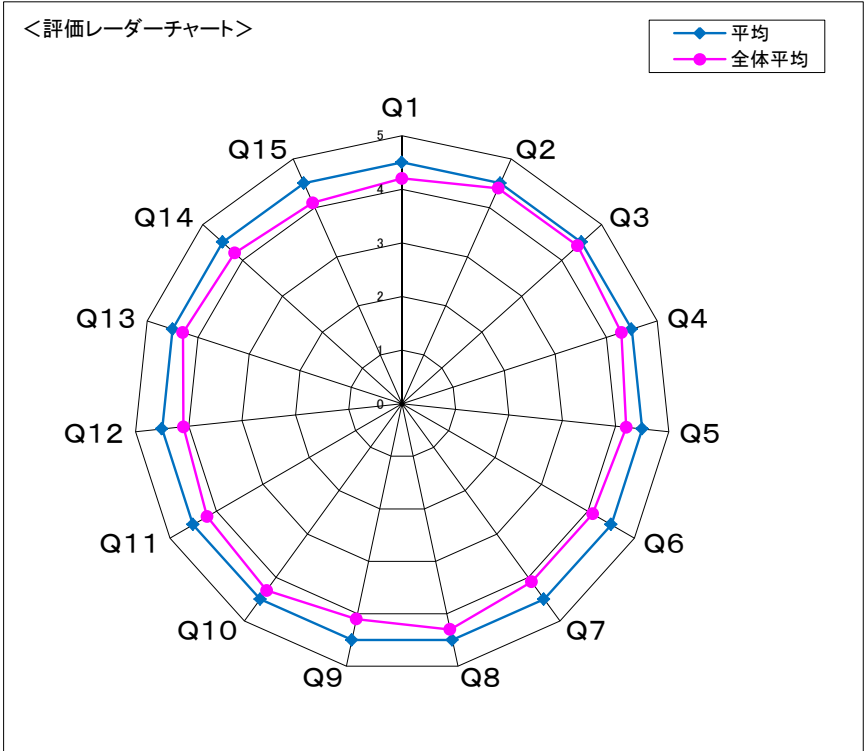
項目別回答分布(人数と平均値)

|                                              | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 無回答 | 平均  | 全体平均 |
|----------------------------------------------|---|---|---|---|---|-----|-----|------|
| 1. シラバスには、授業の概要・目標等が明確に記載されていた               | 1 | 1 | 0 | 0 | － | 0   | 4.5 | 4.2  |
| 2. 授業の構成は体系的に行われていた                          | 1 | 1 | 0 | 0 | － | 0   | 4.5 | 4.4  |
| 3. 授業の時間数は適当だった                              | 1 | 1 | 0 | 0 | － | 0   | 4.5 | 4.4  |
| 4. 授業の進行は適切だった                               | 1 | 1 | 0 | 0 | － | 0   | 4.5 | 4.3  |
| 5. 授業方法、形態(対話・討論型授業、グループワークなど)は適切だった         | 1 | 1 | 0 | 0 | － | 0   | 4.5 | 4.2  |
| 6. 視聴覚教材(黒板、パワーポイント、ビデオ、プリントなど)は理解の促進に効果的だった | 1 | 1 | 0 | 0 | － | 0   | 4.5 | 4.1  |
| 7. 授業内容はわかりやすく説明されていた                        | 1 | 1 | 0 | 0 | － | 0   | 4.5 | 4.1  |
| 8. 授業で要求される作業量(レポート、宿題など)は適切だった              | 1 | 1 | 0 | 0 | － | 0   | 4.5 | 4.3  |
| 9. 教員は効果的に院生の参加(発言、自己学習、作業など)を促した            | 1 | 1 | 0 | 0 | － | 0   | 4.5 | 4.1  |
| 10. 教員は院生の質問・発言等に適切に対応した                     | 1 | 1 | 0 | 0 | － | 0   | 4.5 | 4.3  |
| 11. 自分は授業に質問・発言など積極的な態度で参加した                 | 1 | 1 | 0 | 0 | － | 0   | 4.5 | 4.2  |
| 12. 自分は指定図書を活用し、授業に参加した                      | 1 | 1 | 0 | 0 | － | 0   | 4.5 | 4.1  |
| 13. 自分は授業の事前・事後学習(課題を含む)を行った                 | 1 | 1 | 0 | 0 | － | 0   | 4.5 | 4.3  |
| 14. 自分は授業により、新しい知識、考え方、技能を習得できた              | 1 | 1 | 0 | 0 | － | 0   | 4.5 | 4.2  |
| 15. 自分は授業の履修目標は達成できた                         | 1 | 1 | 0 | 0 | － | 0   | 4.5 | 4.1  |
|                                              |   |   |   |   |   |     |     |      |
|                                              |   |   |   |   |   |     |     |      |
|                                              |   |   |   |   |   |     |     |      |
|                                              |   |   |   |   |   |     |     |      |
|                                              |   |   |   |   |   |     |     |      |

<回答分布>



<評価レーダーチャート>



自由記載に関するコメント

結果全体に対するコメント

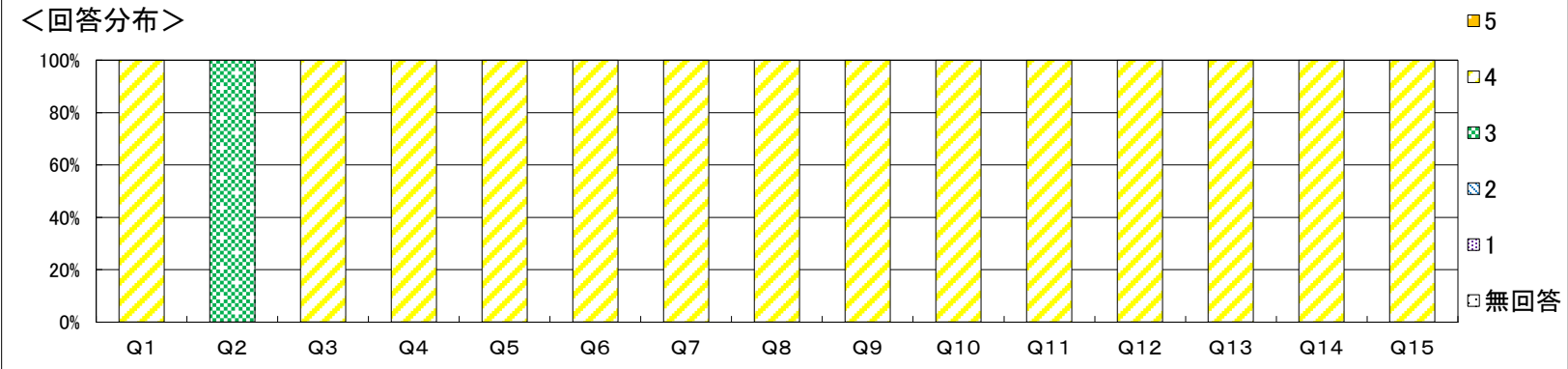
・外部からの非常勤講師が授業を行う。不妊治療、女性への暴力、女性生殖器疾患等、最先端の詳しい授業内容となっている。コロナ禍の時は、遠隔授業でしたが、今年は対面で授業を受けることができ、理解が深まった考える。

|         |                                   |      |      |
|---------|-----------------------------------|------|------|
| 科目名     | (500017) 4000172F13101000 国際助産学 I |      |      |
| 学科      | 助産研究科                             | 履修者数 | 20人  |
| 学年      | 基礎2年                              | 回収数  | 1人   |
| 必修・選択の別 | 必修                                | 回収率  | 5.0% |

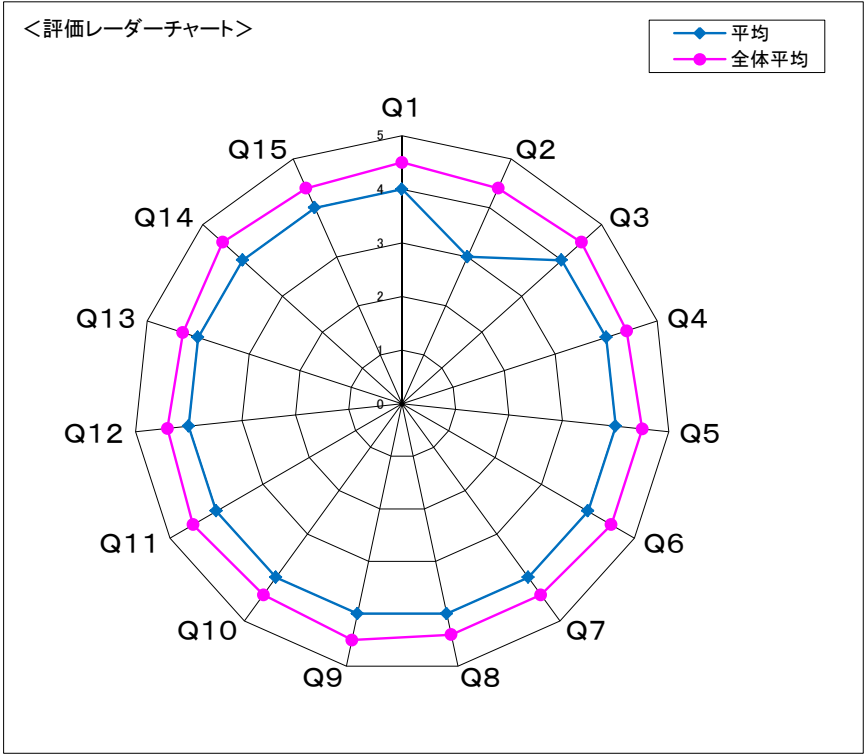
項目別回答分布(人数と平均値)

|                                              | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 無回答 | 平均  | 全体平均 |
|----------------------------------------------|---|---|---|---|---|-----|-----|------|
| 1. シラバスには、授業の概要・目標等が明確に記載されていた               | 0 | 1 | 0 | 0 | － | 0   | 4.0 | 4.5  |
| 2. 授業の構成は体系的に行われていた                          | 0 | 0 | 1 | 0 | － | 0   | 3.0 | 4.4  |
| 3. 授業の時間数は適当だった                              | 0 | 1 | 0 | 0 | － | 0   | 4.0 | 4.5  |
| 4. 授業の進行は適切だった                               | 0 | 1 | 0 | 0 | － | 0   | 4.0 | 4.4  |
| 5. 授業方法、形態(対話・討論型授業、グループワークなど)は適切だった         | 0 | 1 | 0 | 0 | － | 0   | 4.0 | 4.5  |
| 6. 視聴覚教材(黒板、パワーポイント、ビデオ、プリントなど)は理解の促進に効果的だった | 0 | 1 | 0 | 0 | － | 0   | 4.0 | 4.5  |
| 7. 授業内容はわかりやすく説明されていた                        | 0 | 1 | 0 | 0 | － | 0   | 4.0 | 4.4  |
| 8. 授業で要求される作業量(レポート、宿題など)は適切だった              | 0 | 1 | 0 | 0 | － | 0   | 4.0 | 4.4  |
| 9. 教員は効果的に院生の参加(発言、自己学習、作業など)を促した            | 0 | 1 | 0 | 0 | － | 0   | 4.0 | 4.5  |
| 10. 教員は院生の質問・発言等に適切に対応した                     | 0 | 1 | 0 | 0 | － | 0   | 4.0 | 4.4  |
| 11. 自分は授業に質問・発言など積極的な態度で参加した                 | 0 | 1 | 0 | 0 | － | 0   | 4.0 | 4.5  |
| 12. 自分は指定図書を活用し、授業に参加した                      | 0 | 1 | 0 | 0 | － | 0   | 4.0 | 4.4  |
| 13. 自分は授業の事前・事後学習(課題を含む)を行った                 | 0 | 1 | 0 | 0 | － | 0   | 4.0 | 4.3  |
| 14. 自分は授業により、新しい知識、考え方、技能を習得できた              | 0 | 1 | 0 | 0 | － | 0   | 4.0 | 4.5  |
| 15. 自分は授業の履修目標は達成できた                         | 0 | 1 | 0 | 0 | － | 0   | 4.0 | 4.4  |
|                                              |   |   |   |   |   |     |     |      |
|                                              |   |   |   |   |   |     |     |      |
|                                              |   |   |   |   |   |     |     |      |
|                                              |   |   |   |   |   |     |     |      |
|                                              |   |   |   |   |   |     |     |      |

<回答分布>



<評価レーダーチャート>



自由記載に関するコメント

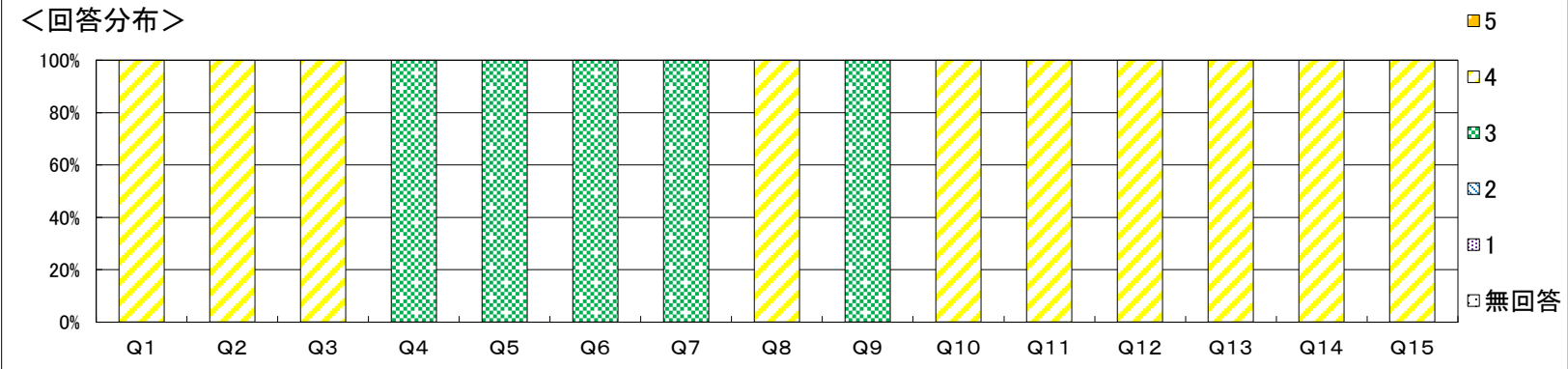
結果全体に対するコメント  
回答者が1名であり、全体コメントはできない。

|         |                                     |      |      |
|---------|-------------------------------------|------|------|
| 科目名     | (500030) 40000302F14100100 特別統合課題研究 |      |      |
| 学科      | 助産研究科                               | 履修者数 | 20人  |
| 学年      | 2                                   | 回収数  | 1人   |
| 必修・選択の別 | 必修                                  | 回収率  | 5.0% |

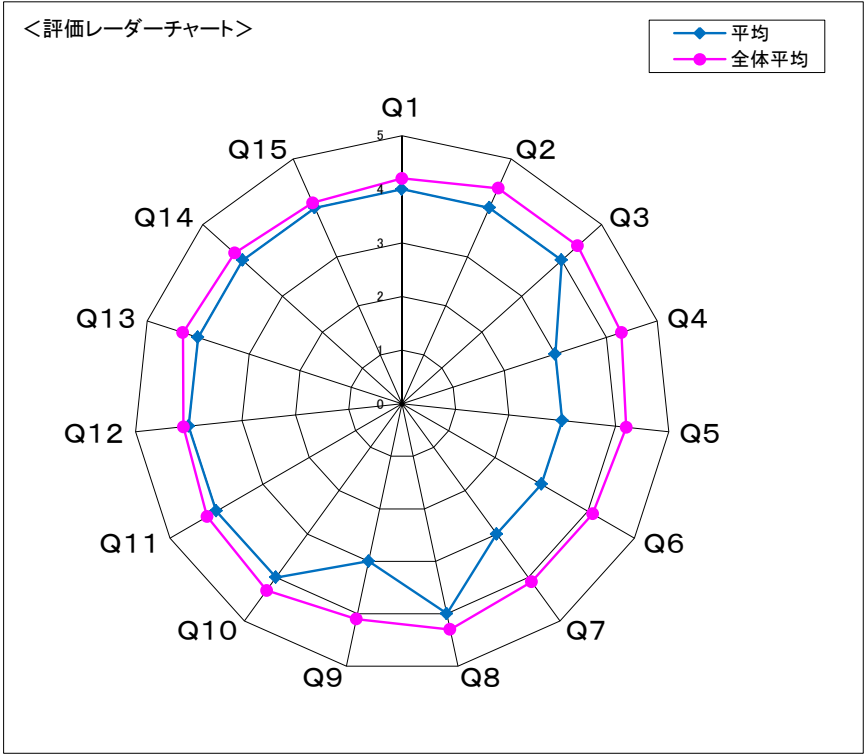
項目別回答分布(人数と平均値)

|                                              | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 無回答 | 平均  | 全体平均 |
|----------------------------------------------|---|---|---|---|---|-----|-----|------|
| 1. シラバスには、授業の概要・目標等が明確に記載されていた               | 0 | 1 | 0 | 0 | － | 0   | 4.0 | 4.2  |
| 2. 授業の構成は体系的に行われていた                          | 0 | 1 | 0 | 0 | － | 0   | 4.0 | 4.4  |
| 3. 授業の時間数は適当だった                              | 0 | 1 | 0 | 0 | － | 0   | 4.0 | 4.4  |
| 4. 授業の進行は適切だった                               | 0 | 0 | 1 | 0 | － | 0   | 3.0 | 4.3  |
| 5. 授業方法、形態(対話・討論型授業、グループワークなど)は適切だった         | 0 | 0 | 1 | 0 | － | 0   | 3.0 | 4.2  |
| 6. 視聴覚教材(黒板、パワーポイント、ビデオ、プリントなど)は理解の促進に効果的だった | 0 | 0 | 1 | 0 | － | 0   | 3.0 | 4.1  |
| 7. 授業内容はわかりやすく説明されていた                        | 0 | 0 | 1 | 0 | － | 0   | 3.0 | 4.1  |
| 8. 授業で要求される作業量(レポート、宿題など)は適切だった              | 0 | 1 | 0 | 0 | － | 0   | 4.0 | 4.3  |
| 9. 教員は効果的に院生の参加(発言、自己学習、作業など)を促した            | 0 | 0 | 1 | 0 | － | 0   | 3.0 | 4.1  |
| 10. 教員は院生の質問・発言等に適切に対応した                     | 0 | 1 | 0 | 0 | － | 0   | 4.0 | 4.3  |
| 11. 自分は授業に質問・発言など積極的な態度で参加した                 | 0 | 1 | 0 | 0 | － | 0   | 4.0 | 4.2  |
| 12. 自分は指定図書を活用し、授業に参加した                      | 0 | 1 | 0 | 0 | － | 0   | 4.0 | 4.1  |
| 13. 自分は授業の事前・事後学習(課題を含む)を行った                 | 0 | 1 | 0 | 0 | － | 0   | 4.0 | 4.3  |
| 14. 自分は授業により、新しい知識、考え方、技能を習得できた              | 0 | 1 | 0 | 0 | － | 0   | 4.0 | 4.2  |
| 15. 自分は授業の履修目標は達成できた                         | 0 | 1 | 0 | 0 | － | 0   | 4.0 | 4.1  |
|                                              |   |   |   |   |   |     |     |      |
|                                              |   |   |   |   |   |     |     |      |
|                                              |   |   |   |   |   |     |     |      |
|                                              |   |   |   |   |   |     |     |      |
|                                              |   |   |   |   |   |     |     |      |

<回答分布>



<評価レーダーチャート>



自由記載に関するコメント

自由記載はありませんでした。

結果全体に対するコメント

本科目は基本的に学生の自立的な研究活動を支援するかたちですめています。1名の回答ではありますが、研究の進め方について満足度が低い結果が示されたと理解しました。より透明性の高い、全体の質向上につながるような研究指導方法と体制のあり方を検討する予定です。